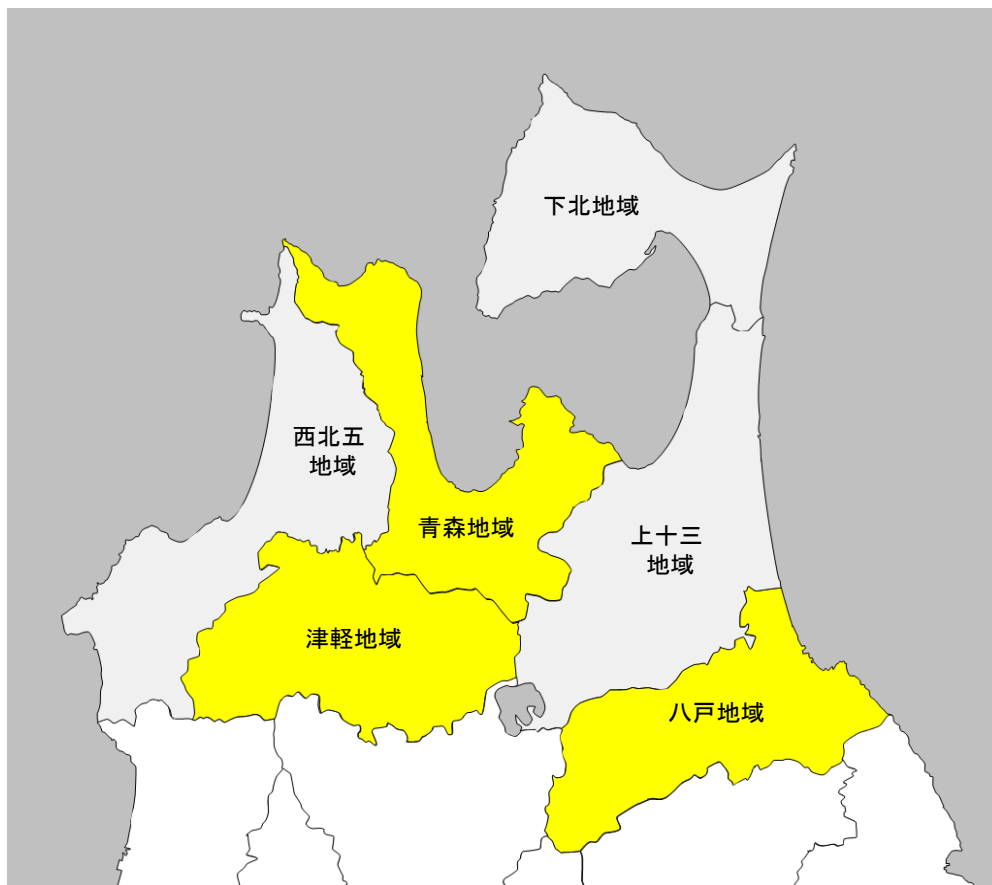


2. 青森県

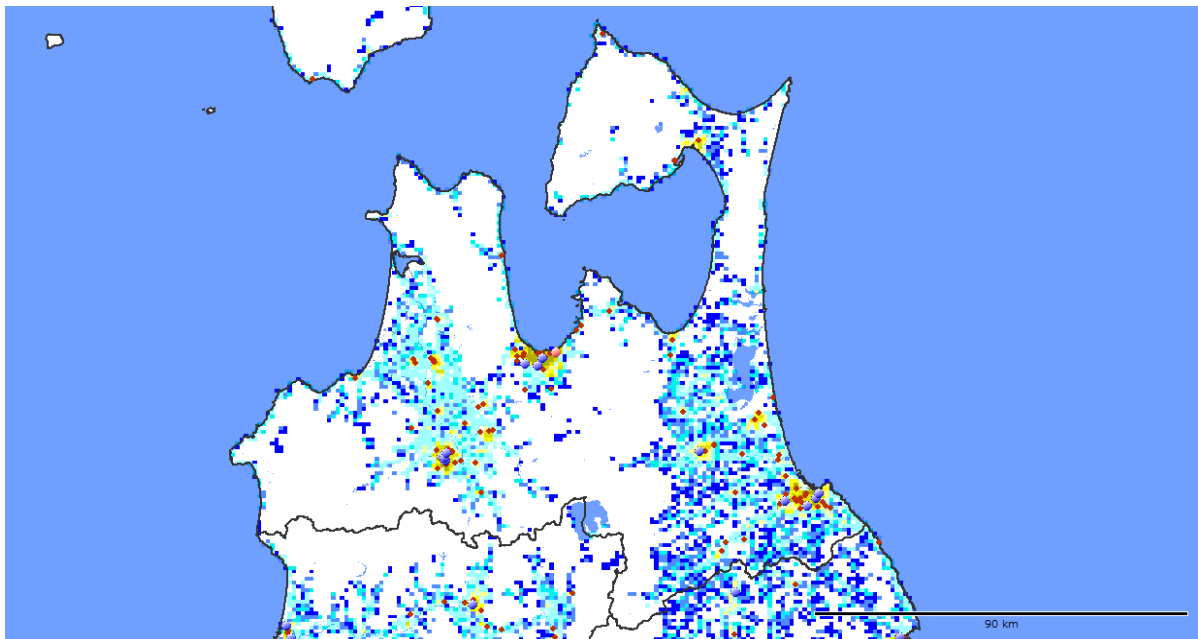


目次

青森県	2 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	2 - 8
1. 津軽地域医療圏	2 - 20
2. 八戸地域医療圏	2 - 25
3. 青森地域医療圏	2 - 30
4. 西北五地域医療圏	2 - 35
5. 上十三地域医療圏	2 - 40
6. 下北地域医療圏	2 - 45

2. 青森県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(青森県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 青森県は、総人口約1308千人(2015年)、面積9646km²、人口密度は136人/km²である。

*人口の将来予測： 青森県の総人口は2025年に1161千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に932千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の199千人が、2025年にかけて237千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には240千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 青森県の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値47)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 青森県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.79で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数43)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 青森県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19909人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12084床(偏差値49)、高齢者住宅等が7825床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、16039人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム37、軽費ホーム46、グループホーム72、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、4676人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

青森県の総人口は、2005年1436657人が、2015年に1308265人と9%減少し、2025年の人口が1161431人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

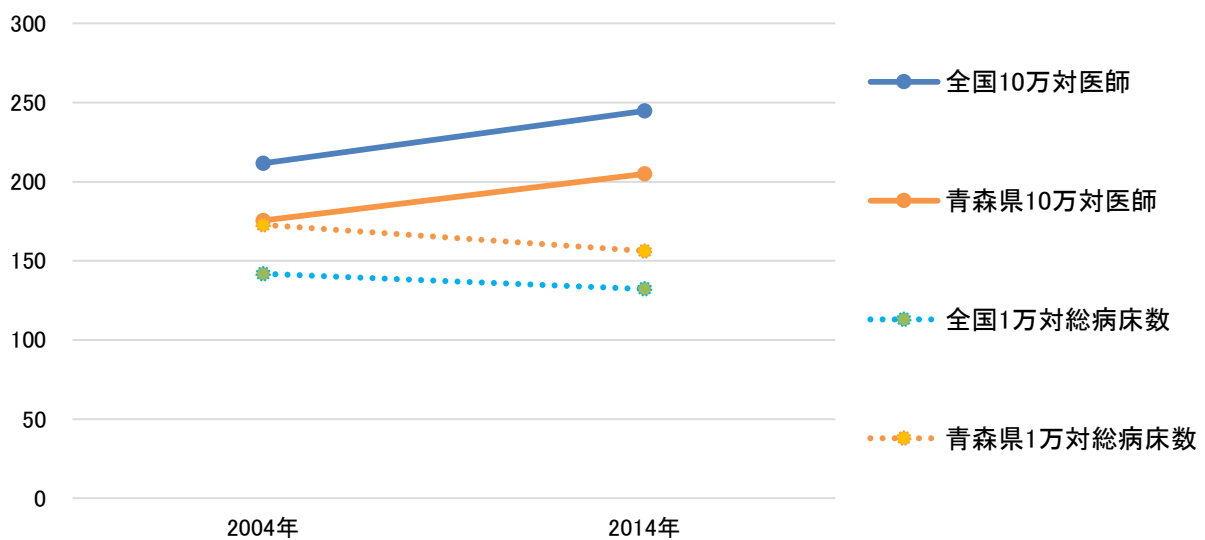
2004年の病院数が108(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に97(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で11病院が減少した。

2004年の診療所数が976(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に895(人口10万人当たり68診療所(全国平均79)偏差値44)と、81診療所が減少した。

2004年の総病床数が24822床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に20430床(人口1万人当たり156(全国平均132)偏差値54)と、4392床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

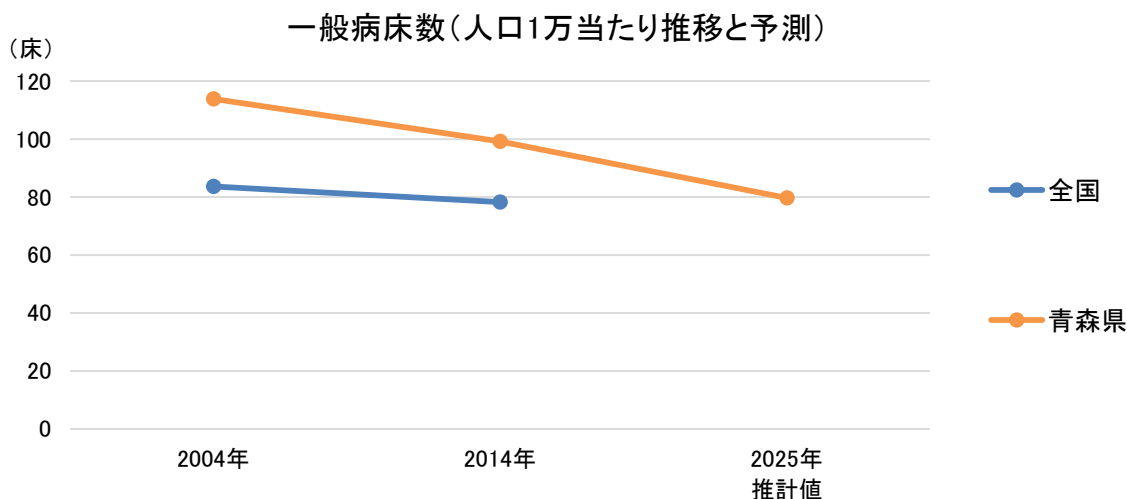
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2522人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に2681人(人口10万人当たり205人(全国平均245人)偏差値46)と、159人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



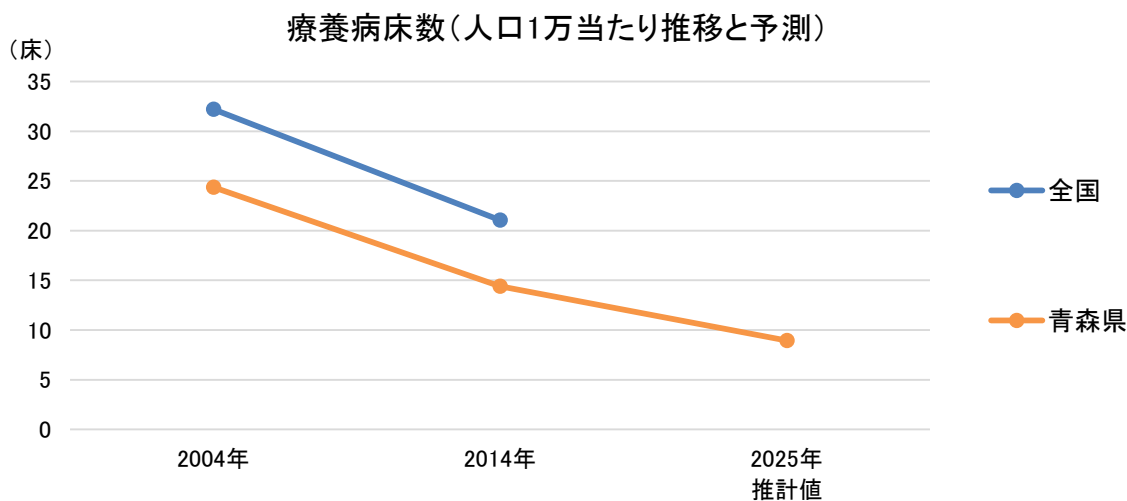
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が16357床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に12973床(人口1万人当たり99(全国平均78)偏差値58)と、3384床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9251床(2025年の推計人口1万人当たり80)になることが予想される。



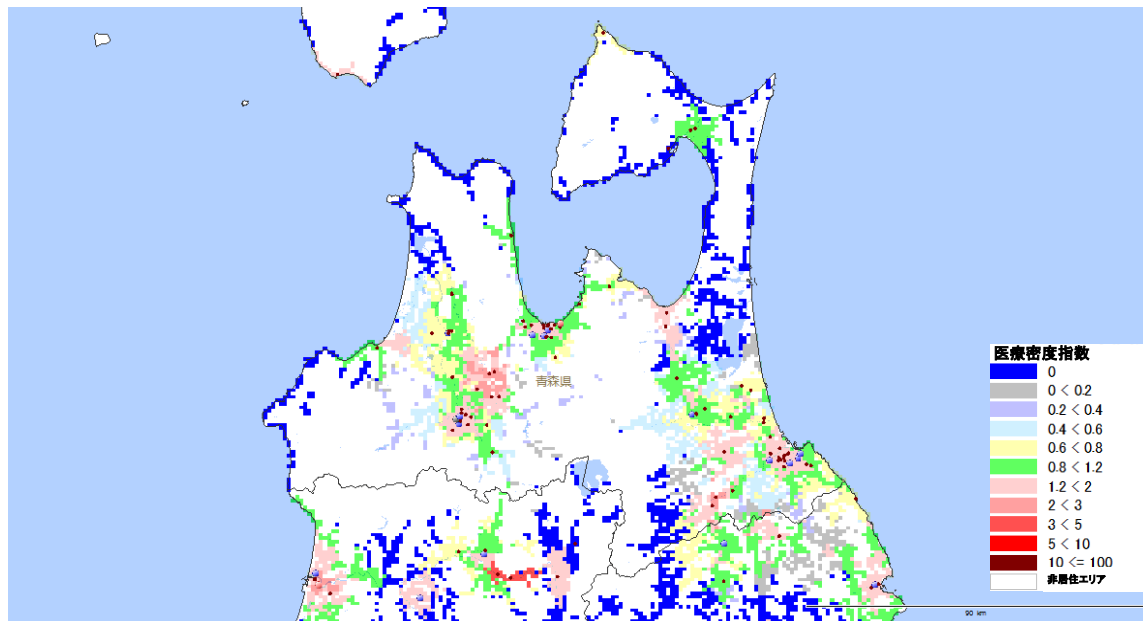
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3553床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に2872床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、681床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2122床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



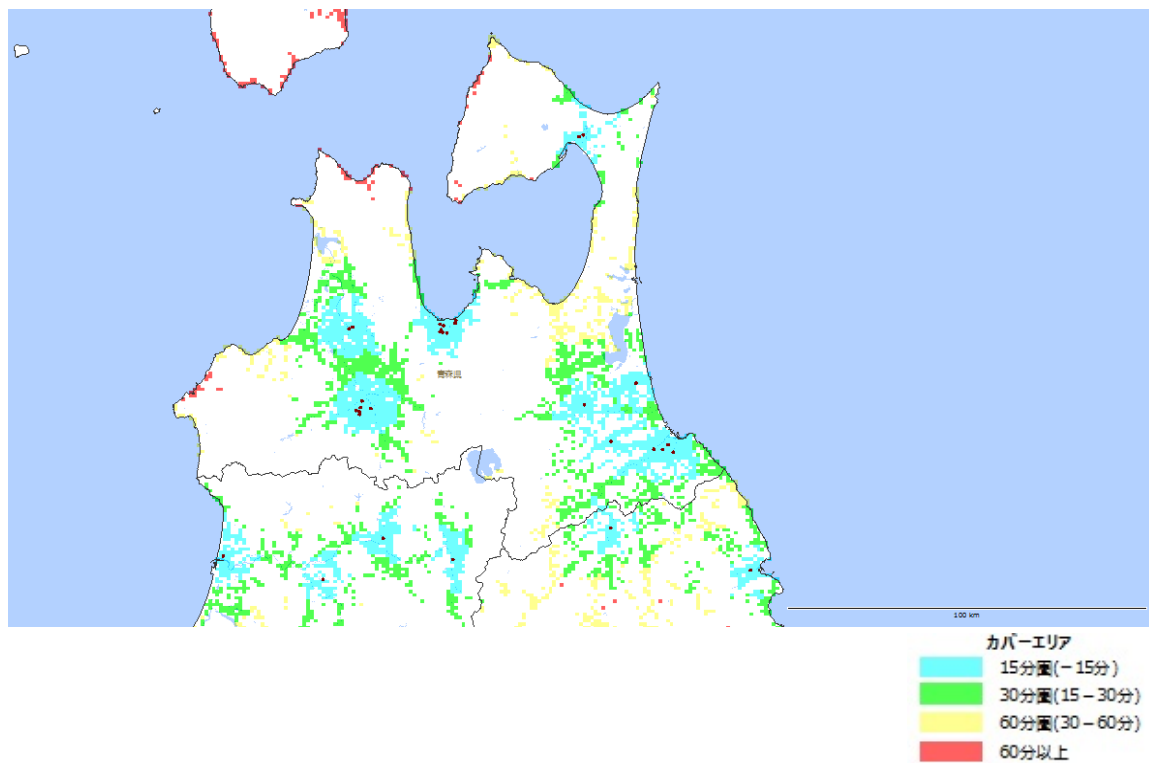
(青森県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表2-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



2.青森県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 2-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
青森県	1,308	31位	9,646	8位	135.6		30%	1,161	932	199	237	240	-11%	-20%	19%	1%
津軽地域	292	22%	1,598	17%	182.6	地方都市型	30%	258	209	46	52	51	-12%	-19%	13%	-2%
八戸地域	323	25%	1,347	14%	240.2	地方都市型	29%	291	238	46	59	61	-10%	-18%	28%	3%
青森地域	311	24%	1,478	15%	210.2	地方都市型	29%	275	218	44	54	55	-12%	-21%	23%	2%
西北五地域	132	10%	1,752	18%	75.1	過疎地域型	34%	113	84	25	26	25	-14%	-26%	4%	-4%
上十三地域	176	13%	2,054	21%	85.8	過疎地域型	29%	158	130	27	33	34	-10%	-18%	22%	3%
下北地域	74	6%	1,416	15%	52.6	過疎地域型	30%	67	53	11	14	14	-9%	-21%	27%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 2-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
青森県	1.06	0.79	17,323	19,295	-11.4%
津軽地域	1.32	0.66	4,114	4,206	-2.2%
八戸地域	1.16	0.55	3,644	4,761	-30.7%
青森地域	1.22	1.04	3,537	4,418	-24.9%
西北五地域	0.62	1.48	2,604	2,135	18.0%
上十三地域	0.74	0.42	2,454	2,648	-7.9%
下北地域	0.56	0.91	970	1,129	-16.4%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 2-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
青森県	329	47	0.950	121	47	0.919	187	49	0.988	298	63
津軽地域	329	47	0.962	121	47	0.924	188	50	1.010	301	64
八戸地域	339	49	0.959	128	49	0.953	188	50	0.972	288	60
青森地域	347	51	0.986	129	49	0.959	198	55	1.025	288	60
西北五地域	299	40	0.899	106	42	0.831	174	43	0.961	304	65
上十三地域	321	45	0.930	118	46	0.893	183	47	0.968	323	70
下北地域	312	43	0.898	113	44	0.849	182	47	0.960	291	61
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表2-35を参照。

資_図表 2-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
青森県	97	1.1%	7.4	52	889	0.9%	68	44
津軽地域	22	23%	7.5	52	234	26%	80	50
八戸地域	27	28%	8.3	54	200	22%	62	41
青森地域	23	24%	7.4	52	237	27%	76	48
西北五地域	8	8%	6.1	49	84	9%	64	42
上十三地域	13	13%	7.4	52	93	10%	53	36
下北地域	4	4%	5.4	47	41	5%	55	37
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 2-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
青森県	889	0.9%	68	44	719	0.8%	55	40	170	2.1%	13.0	61
津軽地域	234	26%	80	50	173	24%	59	42	61	36%	20.9	73
八戸地域	200	22%	62	41	170	24%	53	39	30	18%	9.3	55
青森地域	237	27%	76	48	193	27%	62	44	44	26%	14.2	62
西北五地域	84	9%	64	42	77	11%	58	42	7	4%	5.3	49
上十三地域	93	10%	53	36	74	10%	42	33	19	11%	10.8	57
下北地域	41	5%	55	37	32	4%	43	34	9	5%	12.1	59
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

2.青森県(2017年版)

資_図表 2-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
青森県	17,607	1.1%	1,346	52	2,499	2.3%	191	61	20,106	1.2%	1,537	54
津軽地域	4,368	25%	1,497	55	916	37%	314	73	5,284	26%	1,811	59
八戸地域	4,559	26%	1,410	54	421	17%	130	54	4,980	25%	1,540	54
青森地域	4,786	27%	1,541	56	674	27%	217	63	5,460	27%	1,758	58
西北五地域	1,369	8%	1,040	46	105	4%	80	50	1,474	7%	1,120	46
上十三地域	1,893	11%	1,074	47	270	11%	153	57	2,163	11%	1,227	48
下北地域	632	4%	849	42	113	5%	152	57	745	4%	1,001	44
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 2-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
青森県	10,272	1.1%	785	54	2,793	0.9%	213	48	4,453	1.3%	340	53
津軽地域	2,899	28%	994	63	565	20%	194	47	898	20%	308	52
八戸地域	2,612	25%	808	55	554	20%	171	46	1,387	31%	429	58
青森地域	2,641	26%	850	56	809	29%	260	50	1,271	29%	409	57
西北五地域	610	6%	463	39	591	21%	449	59	164	4%	125	44
上十三地域	1,056	10%	599	45	154	6%	87	42	679	15%	385	56
下北地域	454	4%	610	46	120	4%	161	45	54	1%	73	41
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 2-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
青森県	773	1.1%	59	50	717	1.2%	55	49
津軽地域	275	36%	94	58	201	28%	69	52
八戸地域	164	21%	51	49	183	26%	57	50
青森地域	334	43%	108	61	99	14%	32	45
西北五地域	0	0%	0	38	71	10%	54	49
上十三地域	0	0%	0	38	163	23%	92	56
下北地域	0	0%	0	38	0	0%	0	40
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 2-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
青森県	8,663	7,489	464	8,734	2,696	2,253	73.5%	59	17.1%	53
津軽地域	1,673	1,594	32	2,695	1,295	543	55.2%	51	5.6%	48
八戸地域	2,388	2,189	89	2,129	417	467	84.0%	63	16.0%	53
青森地域	2,382	1,833	152	2,236	733	569	71.4%	58	21.1%	55
西北五地域	638	554	40	731	60	551	90.2%	66	6.8%	49
上十三地域	950	865	31	943	191	123	81.9%	62	20.1%	55
下北地域	632	454	120	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 2-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
青森県	25,668	0.9%	1,962	48	10,656	1.0%	815	50
津軽地域	7,872	31%	2,698	55	2,544	24%	872	52
八戸地域	6,276	24%	1,940	47	3,180	30%	983	56
青森地域	7,056	27%	2,271	51	2,784	26%	896	53
西北五地域	2,064	8%	1,568	44	696	7%	529	40
上十三地域	1,692	7%	960	38	864	8%	490	39
下北地域	708	3%	951	38	588	6%	790	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 2-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
青森県	2,881	0.8%	220	44	1,819	0.8%	139	45	1,062	0.8%	81	43
津軽地域	916	32%	314	55	613	34%	210	56	303	29%	104	50
八戸地域	693	24%	214	44	449	25%	139	45	244	23%	76	41
青森地域	722	25%	233	46	425	23%	137	45	297	28%	96	48
西北五地域	192	7%	146	36	111	6%	84	37	81	8%	61	37
上十三地域	248	9%	141	35	150	8%	85	37	99	9%	56	35
下北地域	110	4%	147	36	72	4%	97	39	38	4%	51	33
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 2-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		12.3	(6.5)			9.8	(4.5)			8.2	(3.7)	
青森県	0.6%	6.9	42		0.8%	7.5	45		0.9%	7.3	48	
津軽地域	34%	10.6	47		42%	14.1	59		36%	12.0	60	
八戸地域	14%	4.0	37		19%	5.9	41		20%	5.9	44	
青森地域	33%	9.7	46		24%	7.7	45		20%	6.1	44	
西北五地域	8%	5.3	39		3%	2.3	33		7%	5.3	42	
上十三地域	8%	4.0	37		7%	4.0	37		8%	4.5	40	
下北地域	2%	2.7	35		4%	5.4	40		8%	10.7	57	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		4.2	(2.1)			7.4	(3.1)			5.9	(2.5)	
青森県	1.1%	4.6	52		0.6%	4.4	40		0.8%	4.6	45	
津軽地域	38%	7.9	68		34%	6.9	48		30%	6.2	51	
八戸地域	22%	4.0	49		22%	4.0	39		22%	4.0	43	
青森地域	25%	4.8	53		29%	5.5	44		30%	5.8	50	
西北五地域	3%	1.5	37		9%	3.8	38		7%	3.0	39	
上十三地域	8%	2.8	44		2%	0.6	28		8%	2.8	38	
下北地域	3%	2.7	43		3%	2.7	35		3%	2.7	37	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		6.5	(3.5)			16.0	(6.9)			12.1	(4.4)	
青森県	0.9%	5.4	47		0.9%	14.8	48		1.0%	11.6	49	
津軽地域	28%	6.9	51		36%	23.6	61		32%	16.8	61	
八戸地域	23%	4.9	45		20%	11.7	44		24%	11.1	48	
青森地域	28%	6.4	50		23%	14.2	47		27%	13.2	52	
西北五地域	4%	2.3	38		8%	12.2	44		6%	6.8	38	
上十三地域	15%	6.2	49		9%	10.2	41		9%	7.4	39	
下北地域	1%	1.3	35		4%	10.7	42		3%	5.4	35	
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科専門医数				脳神経外科専門医数				放射線科専門医数			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
青森県	62	1.1%	4.7	51	50	0.8%	3.8	45	30	0.6%	2.3	44
津軽地域	17	27%	5.8	57	12	24%	4.1	46	15	50%	5.1	53
八戸地域	17	27%	5.3	54	14	28%	4.3	47	5	17%	1.5	41
青森地域	15	24%	4.8	52	15	30%	4.8	49	7	23%	2.3	43
西北五地域	2	3%	1.5	35	3	6%	2.3	38	0	0%	0	36
上十三地域	6	10%	3.4	45	4	8%	2.3	38	2	7%	1.1	40
下北地域	5	8%	6.7	61	2	4%	2.7	40	1	3%	1.3	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科専門医数				病理専門医数				救急科専門医数			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
青森県	48	0.7%	3.7	45	14	0.9%	1.1	48	26	0.8%	2.0	46
津軽地域	23	48%	7.9	59	7	50%	2.4	63	7	27%	2.4	49
八戸地域	6	13%	1.9	39	3	21%	0.9	47	12	46%	3.7	57
青森地域	13	27%	4.2	47	3	21%	1.0	47	4	15%	1.3	42
西北五地域	1	2%	0.8	35	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上十三地域	3	6%	1.7	39	0	0%	0	37	1	4%	0.6	38
下北地域	2	4%	2.7	42	1	7%	1.3	51	2	8%	2.7	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 2-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科専門医数				リハビリテーション科専門医数			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
青森県	8	0.4%	0.6	42	17	0.7%	1.3	46
津軽地域	5	63%	1.7	51	7	41%	2.4	54
八戸地域	0	0%	0	37	4	24%	1.2	45
青森地域	3	38%	1.0	45	2	12%	0.6	41
西北五地域	0	0%	0	37	2	12%	1.5	47
上十三地域	0	0%	0	37	2	12%	1.1	44
下北地域	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

2.青森県(2017年版)

資_図表 2-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
青森県	12,939	1.2%	989	54	10,286	1.1%	786	53	2,653	1.3%	203	57
津軽地域	3,281	25%	1,124	59	2,630	26%	901	57	651	25%	223	59
八戸地域	3,197	25%	989	54	2,589	25%	800	53	609	23%	188	55
青森地域	3,500	27%	1,127	59	2,815	27%	906	58	685	26%	221	59
西北五地域	881	7%	669	43	705	7%	536	42	176	7%	133	47
上十三地域	1,497	12%	849	49	1,120	11%	635	46	377	14%	214	58
下北地域	583	5%	783	47	427	4%	574	44	155	6%	209	57
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 2-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
青森県	1,187	0.9%	91	48	2,111	0.7%	161	43
津軽地域	363	31%	124	55	521	25%	179	45
八戸地域	303	26%	94	49	469	22%	145	41
青森地域	360	30%	116	53	673	32%	217	49
西北五地域	56	5%	43	39	146	7%	111	37
上十三地域	64	5%	36	38	214	10%	121	38
下北地域	42	4%	56	42	88	4%	118	38
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 2-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
青森県	82	0.6%	0.4	40	8	0.7%	0.0	44	146	1.4%	0.7	54
津軽地域	29	35%	0.6	46	2	25%	0.0	45	43	29%	0.9	64
八戸地域	12	15%	0.3	37	1	13%	0.0	41	38	26%	0.8	59
青森地域	29	35%	0.7	46	4	50%	0.1	53	26	18%	0.6	47
西北五地域	2	2%	0.1	33	0	0%	0	38	13	9%	0.5	44
上十三地域	8	10%	0.3	38	0	0%	0	38	18	12%	0.7	51
下北地域	2	2%	0.2	35	1	13%	0.1	52	8	5%	0.7	53
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 2-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	19,909	1.2%	100	48	12,084	1.2%	61	49	7,825	1.1%	39	48
津軽地域	4,916	25%	107	52	2,812	23%	61	50	2,104	27%	46	52
八戸地域	4,194	21%	91	42	2,653	22%	58	47	1,541	20%	33	44
青森地域	3,999	20%	91	43	2,337	19%	53	43	1,662	21%	38	47
西北五地域	2,740	14%	109	53	1,650	14%	66	53	1,090	14%	43	51
上十三地域	3,008	15%	112	55	1,824	15%	68	55	1,184	15%	44	51
下北地域	1,052	5%	92	43	808	7%	71	58	244	3%	21	37
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 2-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	5,261	1.4%	26	57	5,985	1.1%	30	45	838	1.3%	4.2	50
津軽地域	1,467	28%	32	66	1,311	22%	29	43	34	4%	0.7	42
八戸地域	1,080	21%	23	51	1,307	22%	28	43	266	32%	5.8	54
青森地域	1,058	20%	24	53	1,142	19%	26	41	137	16%	3.1	48
西北五地域	580	11%	23	51	715	12%	28	43	355	42%	14.1	75
上十三地域	817	16%	30	63	1,001	17%	37	52	6	1%	0.2	41
下北地域	259	5%	23	50	509	9%	45	60	40	5%	3.5	49
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	135	0.1%	0.7	37	119	0.5%	0.6	46	4,953	2.5%	24.8	72
津軽地域	0	0%	0	37	30	25%	0.7	46	1,272	26%	27.7	77
八戸地域	81	60%	1.8	38	0	0%	0	43	878	18%	19.1	62
青森地域	0	0%	0	37	59	50%	1.3	50	1,141	23%	26.0	74
西北五地域	0	0%	0	37	30	25%	1.2	49	924	19%	36.7	93
上十三地域	54	40%	2.0	39	0	0%	0	43	576	12%	21.4	66
下北地域	0	0%	0	37	0	0%	0	43	162	3%	14.2	54
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	2,618	1.1%	13.1	48	32	0.2%	0.2	45	2,586	1.2%	13.0	49
津軽地域	802	31%	17.4	54	0	0%	0	44	802	31%	17.4	56
八戸地域	582	22%	12.6	47	32	100%	0.7	48	550	21%	11.9	48
青森地域	462	18%	10.5	45	0	0%	0	44	462	18%	10.5	46
西北五地域	136	5%	5.4	37	0	0%	0	44	136	5%	5.4	38
上十三地域	554	21%	20.6	59	0	0%	0	44	554	21%	20.6	60
下北地域	82	3%	7.2	40	0	0%	0	44	82	3%	7.2	41
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 2-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	2,149	1.3%	10.8	52	1,490	1.2%	7.5	50	660	1.4%	3.3	55
津軽地域	481	22%	10.5	51	315	21%	6.8	47	166	25%	3.6	58
八戸地域	578	27%	12.6	60	391	26%	8.5	55	187	28%	4.1	62
青森地域	409	19%	9.3	46	271	18%	6.2	44	138	21%	3.2	53
西北五地域	278	13%	11.1	53	237	16%	9.4	60	41	6%	1.6	37
上十三地域	295	14%	10.9	53	191	13%	7.1	49	104	16%	3.9	60
下北地域	108	5%	9.4	46	85	6%	7.4	50	23	4%	2.0	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
青森県	20,715	1.4%	104	61	16,039	1.3%	80	53	4,676	2.1%	23.5	67
津軽地域	5,111	25%	111	67	3,755	23%	82	55	1,356	29%	29.5	78
八戸地域	4,519	22%	98	56	3,596	22%	78	51	923	20%	20.1	61
青森地域	4,709	23%	107	64	3,444	21%	79	52	1,266	27%	28.9	77
西北五地域	2,581	12%	103	60	2,174	14%	86	59	407	9%	16.2	54
上十三地域	2,770	13%	103	60	2,218	14%	82	55	552	12%	20.5	62
下北地域	1,024	5%	90	50	853	5%	75	49	171	4%	15.0	52
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
青森県	9,020	0.8%	45	43	4,894	1.1%	25	47	23,759	1.6%	119	59
津軽地域	1,826	20%	40	41	947	19%	21	44	5,843	25%	127	61
八戸地域	2,289	25%	50	45	1,402	29%	30	52	4,590	19%	100	52
青森地域	3,154	35%	72	52	1,127	23%	26	48	6,540	28%	149	68
西北五地域	357	4%	14	33	202	4%	8	33	2,245	9%	89	49
上十三地域	1,111	12%	41	42	1,044	21%	39	59	2,783	12%	103	54
下北地域	283	3%	25	37	172	4%	15	39	1,758	7%	154	69
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
青森県		1,436,657	1,308,265	-9%	1,161,431	-19%	4%	-1%	4%
津軽地域	地方都市型	317,610	291,789	-8%	258,423	-19%	4%	-3%	1%
八戸地域	地方都市型	348,205	323,447	-7%	290,563	-17%	7%	2%	9%
青森地域	地方都市型	340,427	310,640	-9%	275,028	-19%	4%	1%	5%
西北五地域	過疎地域型	155,246	131,631	-15%	112,589	-27%	-2%	-6%	-9%
上十三地域	過疎地域型	191,417	176,307	-8%	158,286	-17%	6%	1%	7%
下北地域	過疎地域型	83,752	74,451	-11%	66,542	-21%	1%	1%	2%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 2-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
青森県	108	7.5	51	97	7.4	52	-11	-10%	86
津軽地域	27	8.5	54	22	7.5	52	-5	-19%	17
八戸地域	27	7.8	52	27	8.3	54	0	0%	27
青森地域	25	7.3	51	23	7.4	52	-2	-8%	21
西北五地域	10	6.4	48	8	6.1	49	-2	-20%	6
上十三地域	13	6.8	49	13	7.4	52	0	0%	13
下北地域	6	7.2	50	4	5.4	47	-2	-33%	2
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 2-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
青森県	976	68	46	895	68	44	-81	-8%	806
津軽地域	260	82	53	236	81	51	-24	-9%	210
八戸地域	211	61	42	196	61	40	-15	-7%	180
青森地域	275	81	52	245	79	50	-30	-11%	212
西北五地域	81	52	38	85	65	42	4	5%	89
上十三地域	103	54	39	93	53	36	-10	-10%	82
下北地域	46	55	40	40	54	36	-6	-13%	33
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 2-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
青森県	2,522	176	46	2,681	205	46	159	6%	2,856
津軽地域	869	274	57	907	311	57	38	4%	949
八戸地域	557	160	44	608	188	44	51	9%	664
青森地域	608	179	46	680	219	47	72	12%	759
西北五地域	160	103	37	165	125	37	5	3%	171
上十三地域	224	117	39	217	123	37	-7	-3%	209
下北地域	104	124	40	104	140	39	0	0%	104
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 2-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
青森県	24,822	173	56	20,430	156	54	-4,392	-18%	15,597
津軽地域	6,263	197	60	5,337	183	59	-926	-15%	4,318
八戸地域	5,483	157	53	5,017	155	54	-466	-8%	4,504
青森地域	6,884	202	61	5,608	181	59	-1,276	-19%	4,204
西北五地域	2,299	148	51	1,493	113	47	-806	-35%	606
上十三地域	2,911	152	52	2,230	126	49	-681	-23%	1,481
下北地域	982	117	46	745	100	44	-237	-24%	484
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 2-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
青森県	16,357	114	61	12,973	99	58	-3,384	-21%	9,251	80
津軽地域	4,425	139	70	3,800	130	69	-625	-14%	3,113	120
八戸地域	3,661	105	58	3,095	96	56	-566	-15%	2,472	85
青森地域	4,447	131	67	3,428	110	62	-1,019	-23%	2,307	84
西北五地域	1,315	85	50	734	56	42	-581	-44%	95	8
上十三地域	1,793	94	54	1,349	77	49	-444	-25%	861	54
下北地域	716	85	51	567	76	49	-149	-21%	403	61
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 2-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
青森県	3,553	24	46	2,872	14	44	-681	-19%	2,122	9
津軽地域	875	25	46	633	14	44	-242	-28%	367	7
八戸地域	618	19	43	507	11	41	-111	-18%	385	7
青森地域	1,000	32	50	843	19	48	-157	-16%	670	12
西北五地域	668	34	51	591	23	52	-77	-12%	506	19
上十三地域	236	12	39	178	7	38	-58	-25%	114	4
下北地域	156	17	42	120	11	41	-36	-23%	80	6
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 2-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
青森県	820	41	0.855	372	41	0.792	428	47	0.940
津軽地域	840	42	0.875	393	43	0.838	429	47	0.937
八戸地域	835	42	0.866	389	43	0.827	425	46	0.923
青森地域	918	49	0.953	427	47	0.908	469	57	1.019
西北五地域	696	31	0.731	285	32	0.611	395	39	0.871
上十三地域	753	35	0.785	329	37	0.698	405	41	0.889
下北地域	721	33	0.756	303	34	0.649	403	41	0.890
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

つがる 2-1. 津軽地域医療圏

構成市区町村⁹

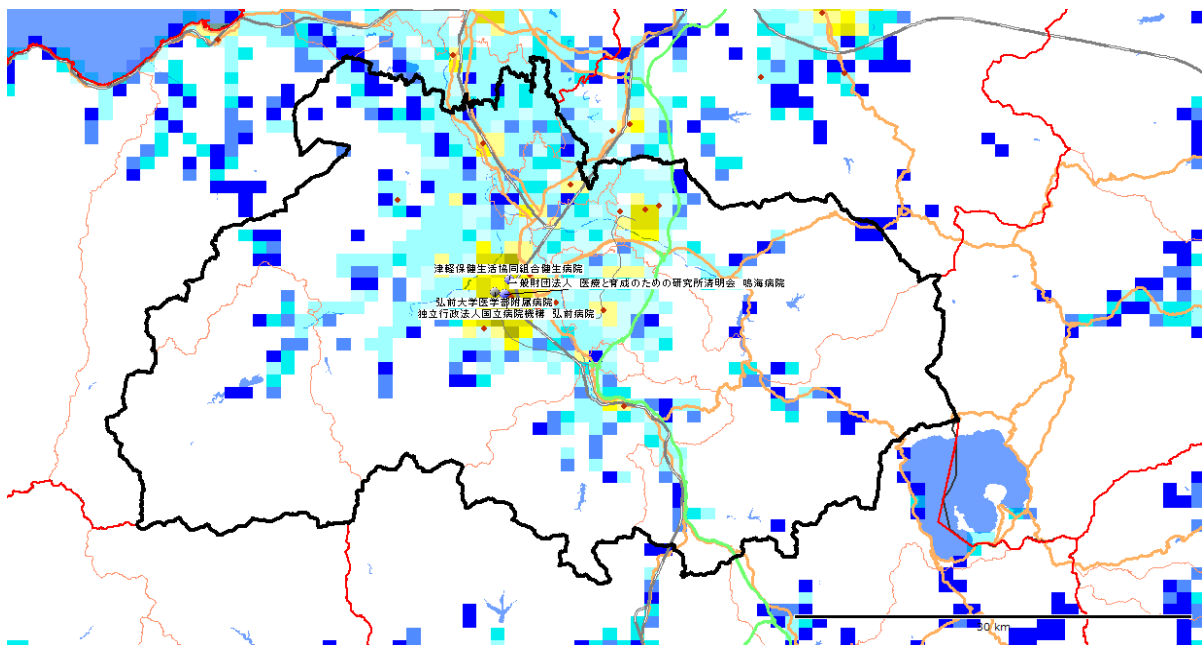
[弘前市](#)
[藤崎町](#)

[黒石市](#)
[大鰐町](#)

[平川市](#)
[田舎館村](#)

[西目屋村](#)
[板柳町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(津軽地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 津軽地域(弘前市)は、総人口約292千人(2015年)、面積1598km²、人口密度は183人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 津軽地域の総人口は2025年に258千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に209千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には51千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 津軽地域の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値47)、介護給付費は301千円(偏差値64)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 津軽地域の一人当たり急性期医療密度指数²は1.32、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.66で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が55(病院医師数56、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は59と多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。津軽地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の弘前大学医学部附属病院(I群・救命)、500例以上の国立病院機構弘前病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値58と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 津軽地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4916人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2812床(偏差値50)、高齢者住宅等が2104床(偏差値52)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3755人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設42、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム46、グループホーム77、サ高住54である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値64と多い。介護職員(在宅)の合計は、1356人(75歳以上1000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(津軽地域医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

津軽地域医療圏の総人口は、2005年317610人が、2015年に291789人と8%減少し、2025年の人口が258423人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

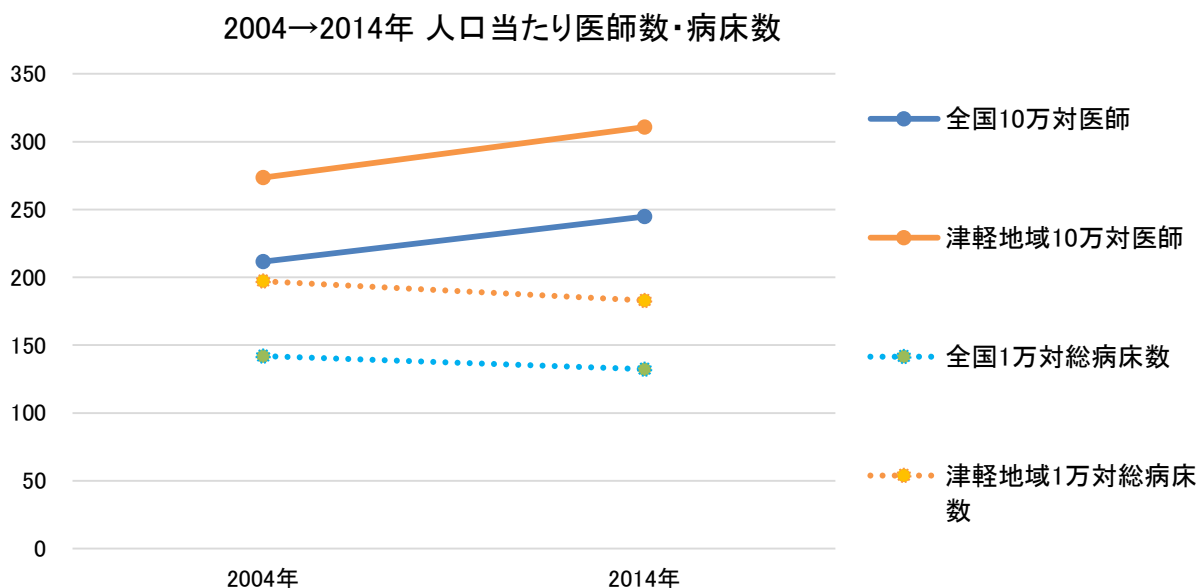
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が27(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に22(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が260(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に236(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、24診療所が減少した。

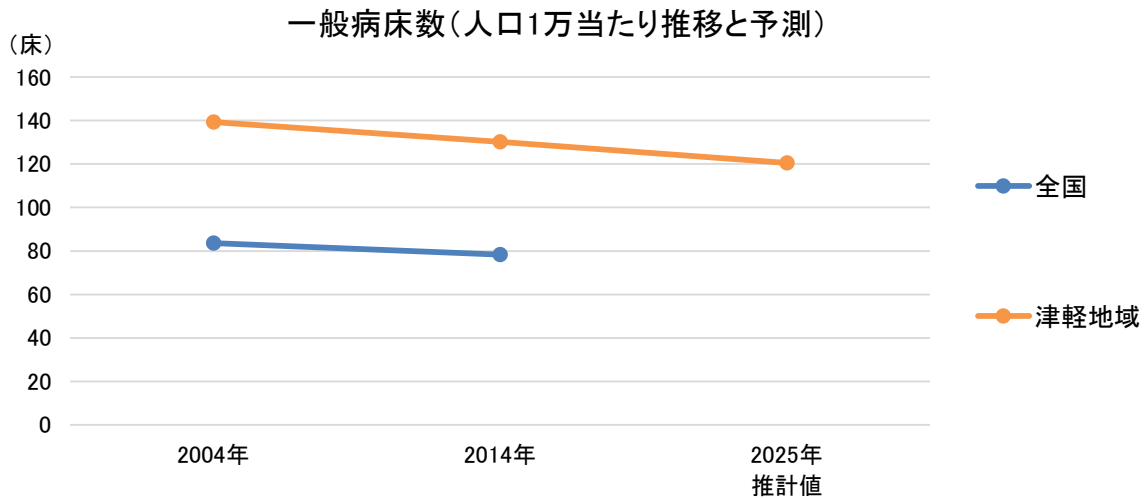
2004年の総病床数が6263床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に5337床(人口1万人当たり183(全国平均132)偏差値59)と、926床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が869人(人口10万人当たり274人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に907人(人口10万人当たり311人(全国平均245人)偏差値57)と、38人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



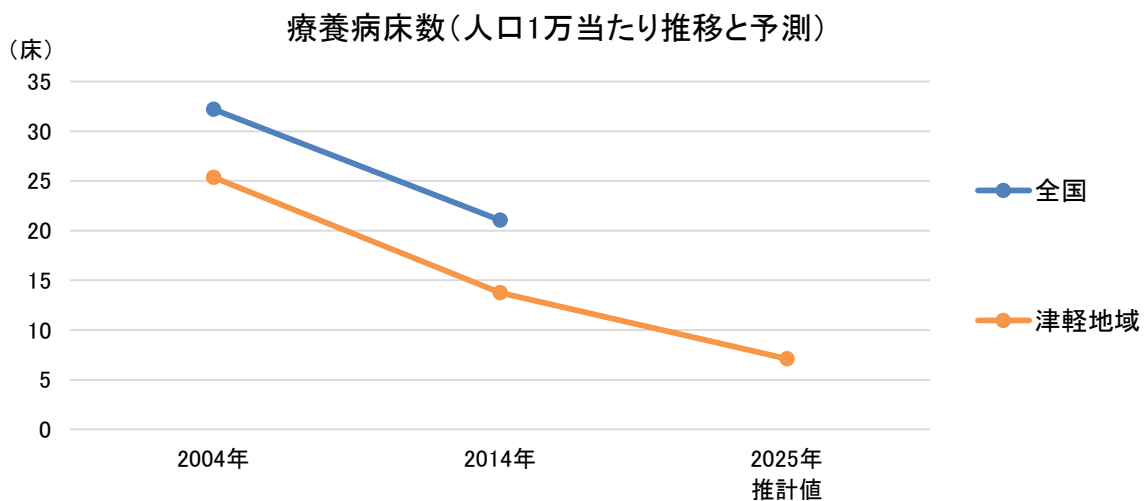
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4425床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に3800床(人口1万人当たり130(全国平均78)偏差値69)と、625床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3113床(2025年の推計人口1万人当たり120)になることが予想される。



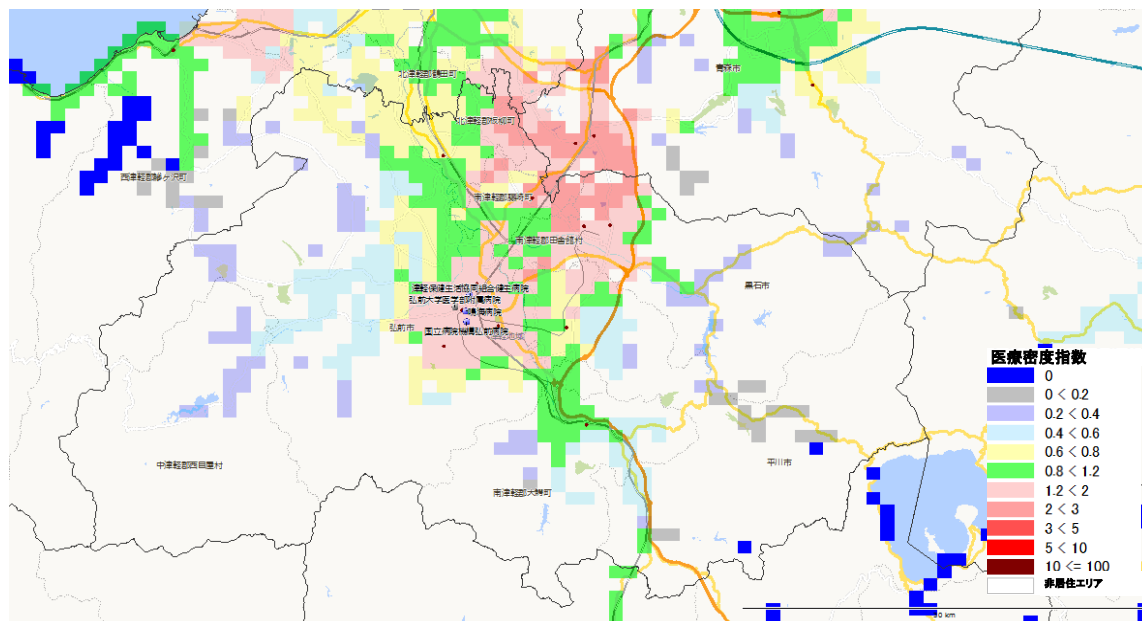
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が875床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に633床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、242床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には367床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



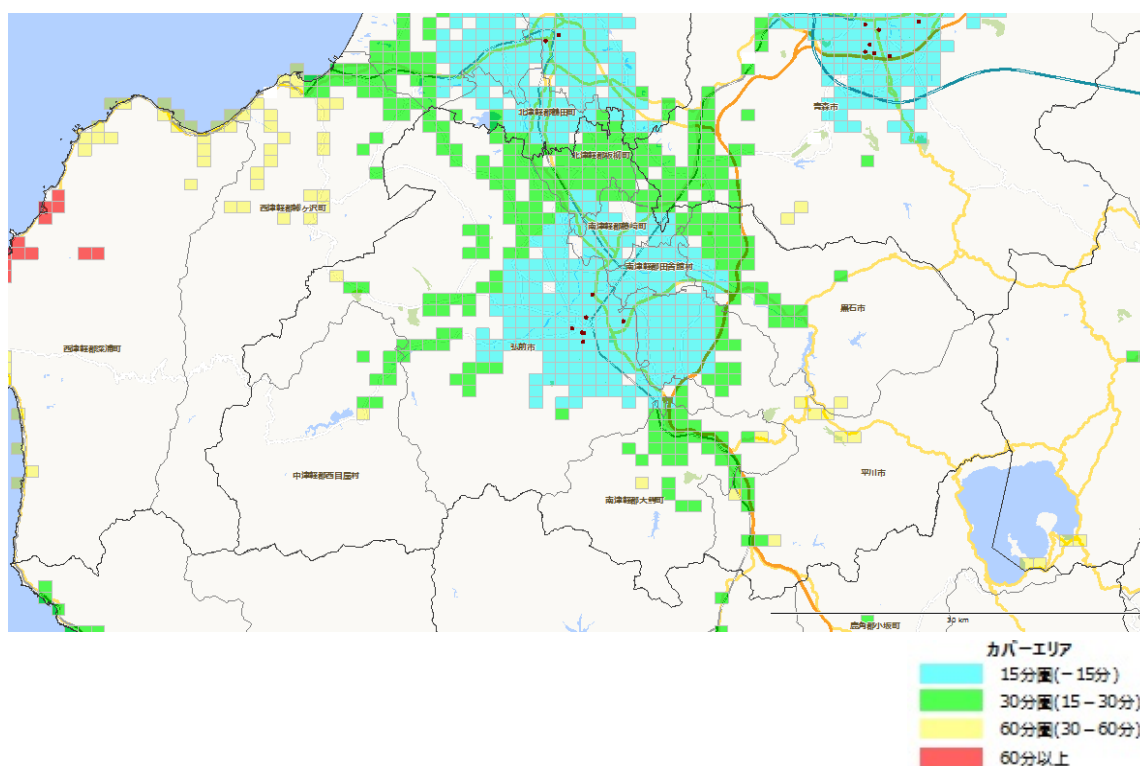
(津軽地域医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表2-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

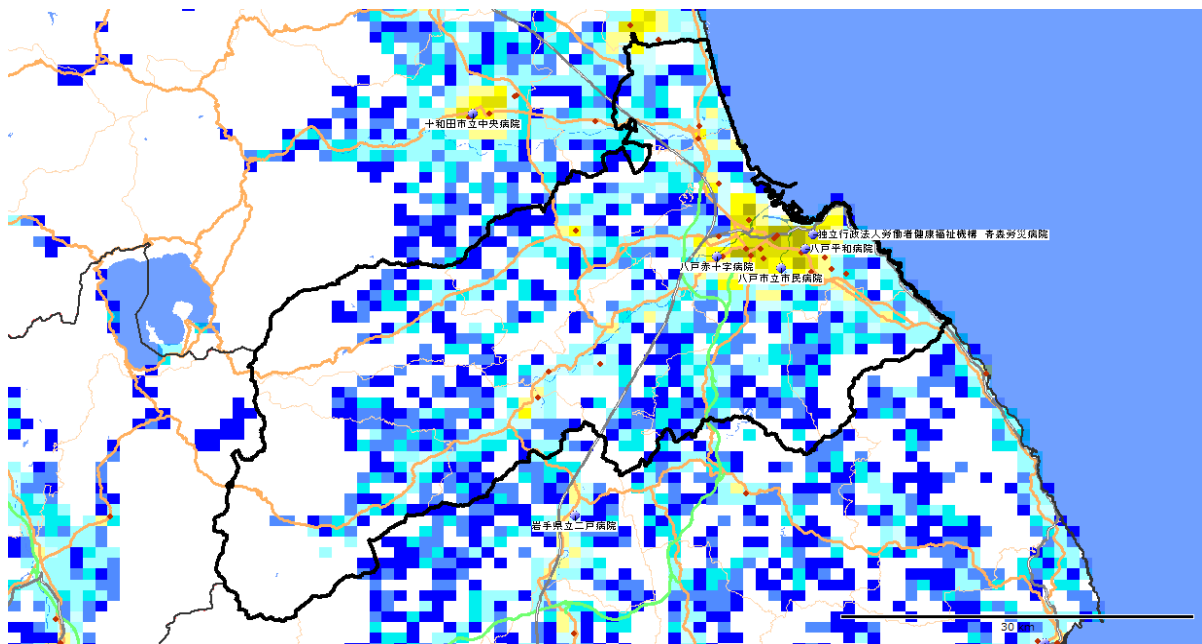
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



2-2. はちのへ 八戸地域医療圏

構成市区町村⁹ [八戸市](#) [田子町](#) [おいらせ町](#) [南部町](#) [三戸町](#) [階上町](#) [五戸町](#) [新郷村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(八戸地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 八戸地域(八戸市)は、総人口約323千人(2015年)、面積1347km²、人口密度は240人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 八戸地域の総人口は2025年に291千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に238千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には61千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 八戸地域の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値49)、介護給付費は288千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 八戸地域の一人当たり急性期医療密度指数²は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数41)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。八戸地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の八戸市立市民病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の八戸赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の青森労災病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 八戸地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4194人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2653床(偏差値47)、高齢者住宅等が1541床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3596人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム62、サ高住47である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、923人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-31%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(八戸地域医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

八戸地域医療圏の総人口は、2005年348205人が、2015年に323447人と7%減少し、2025年の人口が290563人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

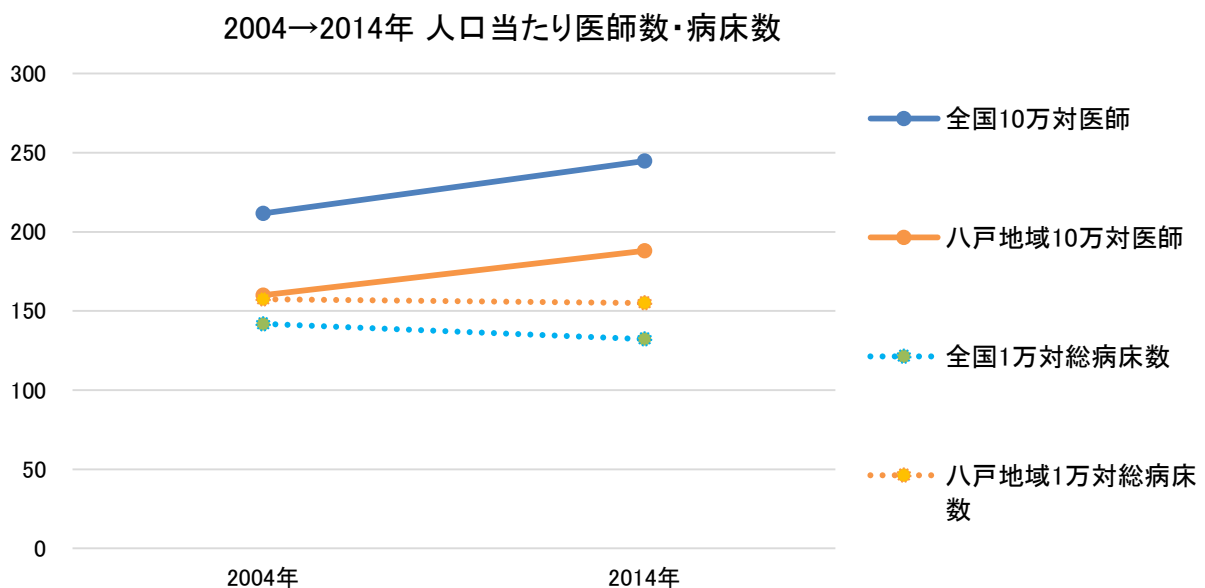
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が27(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に27(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が211(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に196(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値40)と、15診療所が減少した。

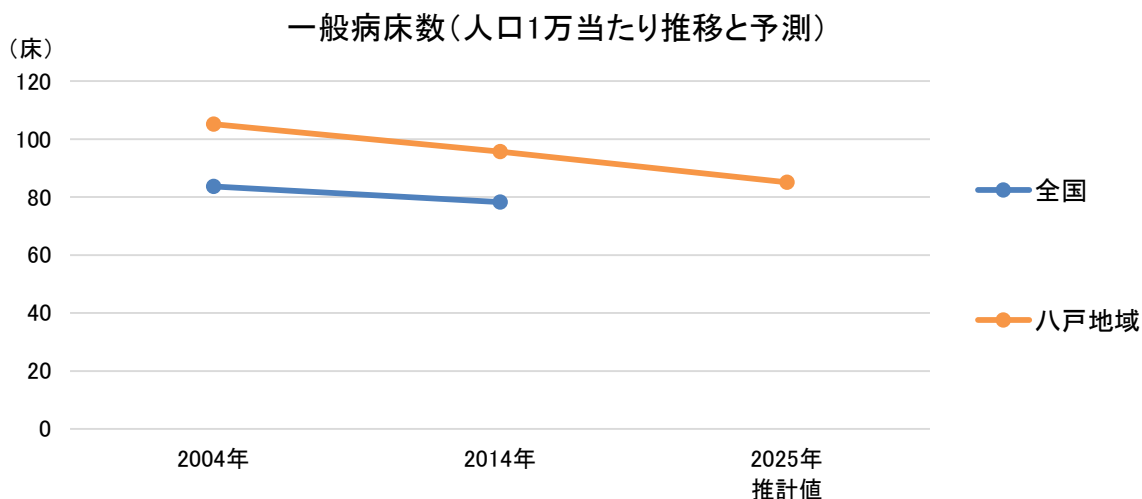
2004年の総病床数が5483床(人口1万人当たり157(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に5017床(人口1万人当たり155(全国平均132)偏差値54)と、466床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が557人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に608人(人口10万人当たり188人(全国平均245人)偏差値44)と、51人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



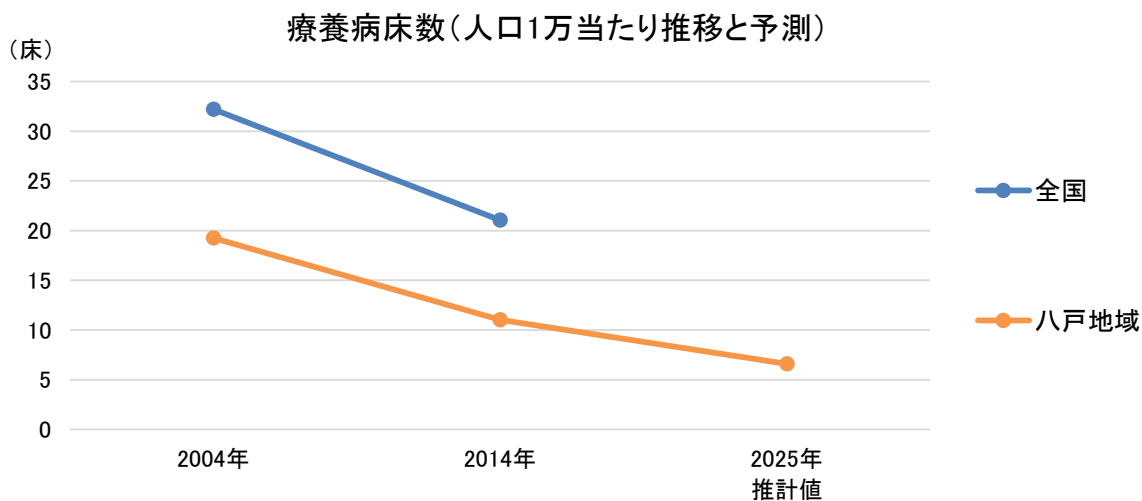
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3661床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に3095床(人口1万人当たり96(全国平均78)偏差値56)と、566床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2472床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



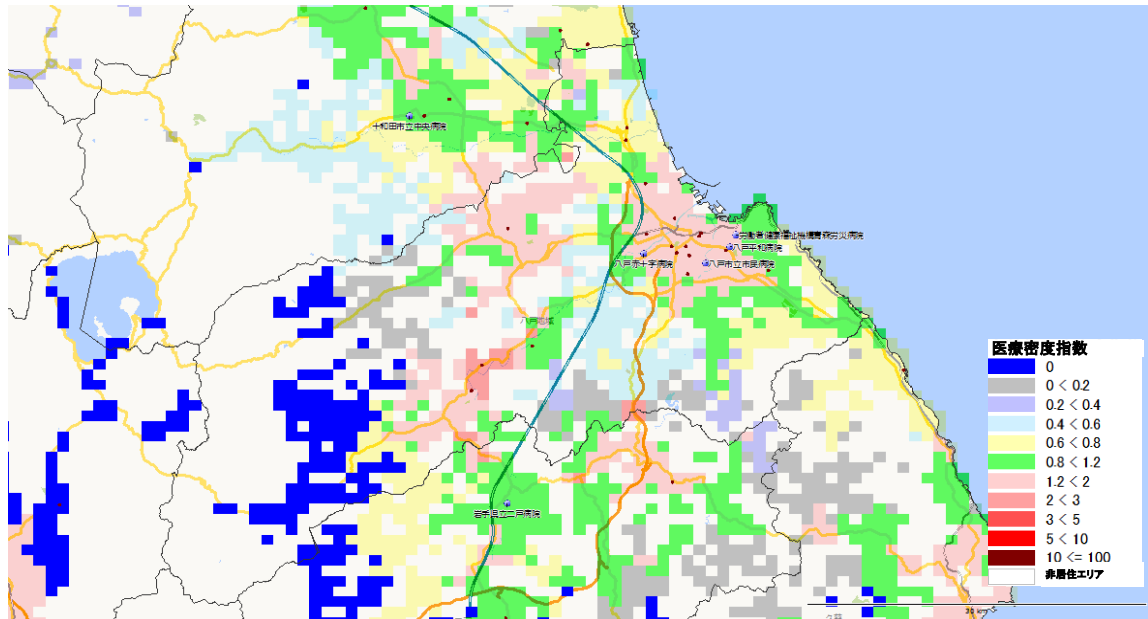
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が618床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に507床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、111床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には385床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



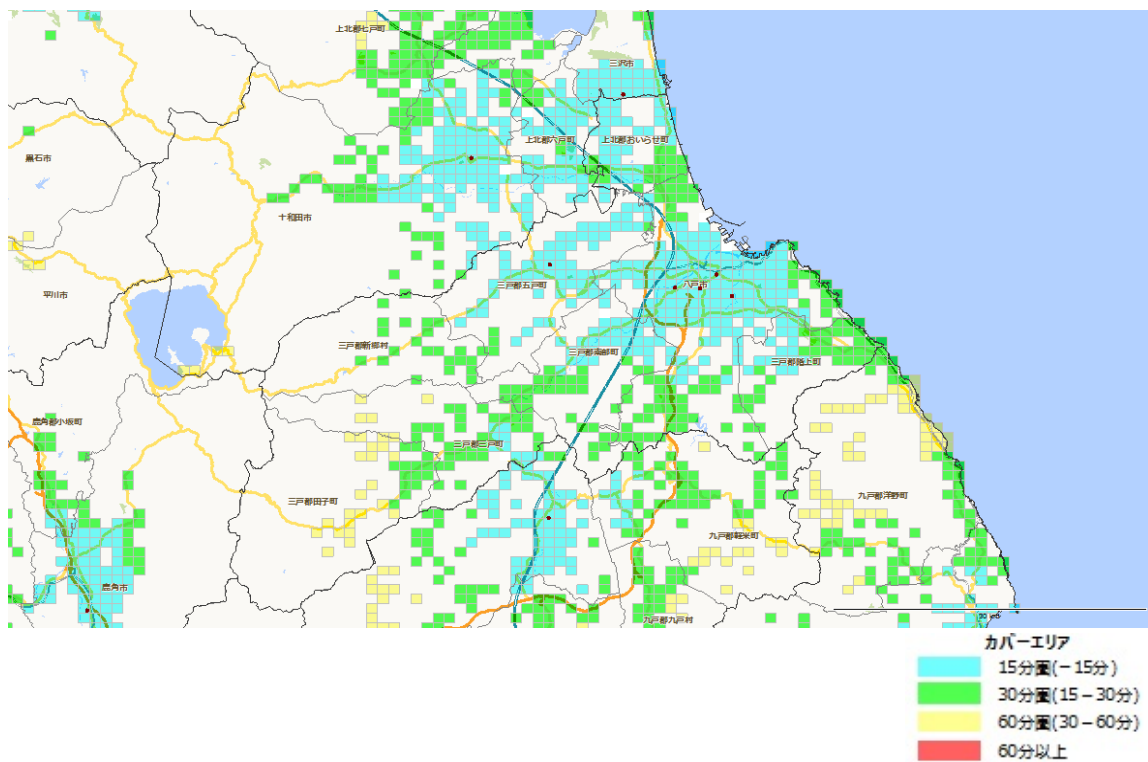
(八戸地域医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表2-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

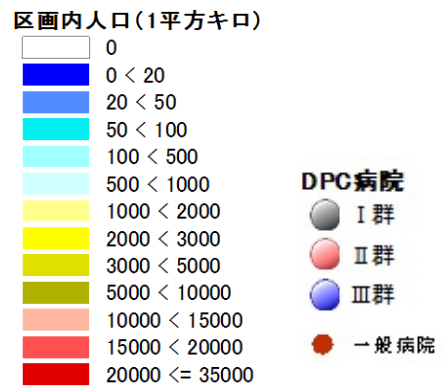
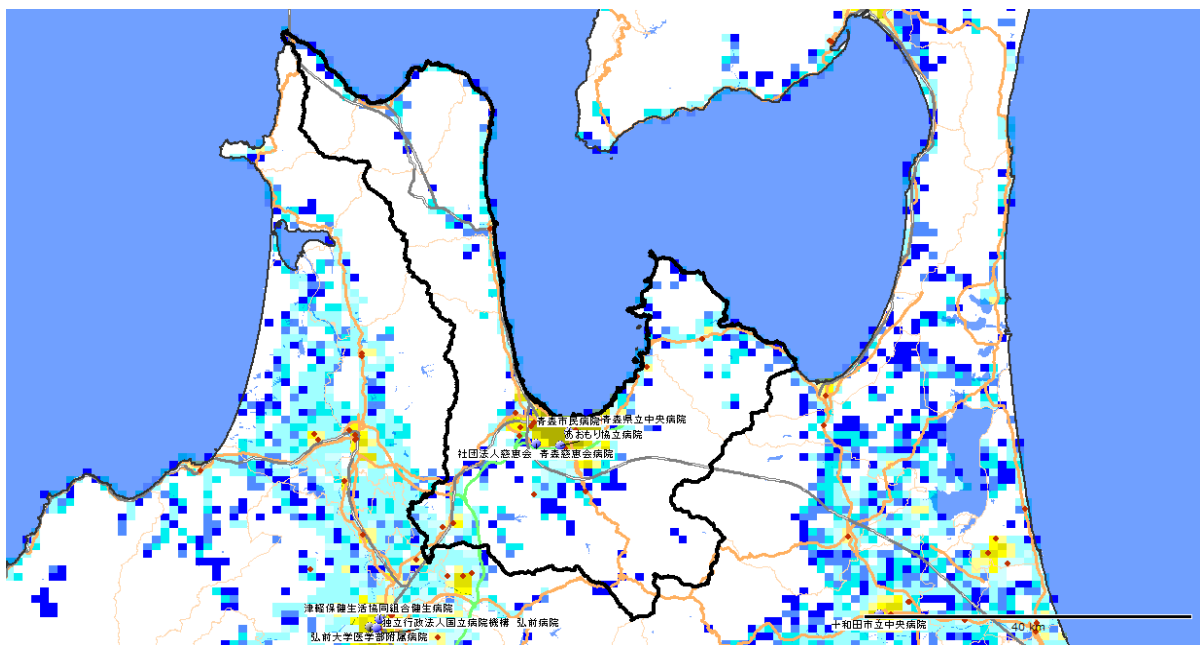
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



2-3. あおもり 青森地域医療圏

構成市区町村⁹ [青森市](#) [平内町](#) [今別町](#) [蓬田村](#)
[外ヶ浜町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(青森地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 青森地域(青森市)は、総人口約311千人(2015年)、面積1478km²、人口密度は210人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 青森地域の総人口は2025年に275千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に218千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の44千人が、2025年にかけて54千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には55千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 青森地域の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値51)、介護給付費は288千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 青森地域の一人当たり急性期医療密度指数²は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.04で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。青森地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の青森県立中央病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の青森市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 青森地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3999人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2337床(偏差値43)、高齢者住宅等が1662床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3444人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設48、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム50、グループホーム74、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1266人(75歳以上1000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(青森地域医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

青森地域医療圏の総人口は、2005年340427人が、2015年に310640人と9%減少し、2025年の人口が275028人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

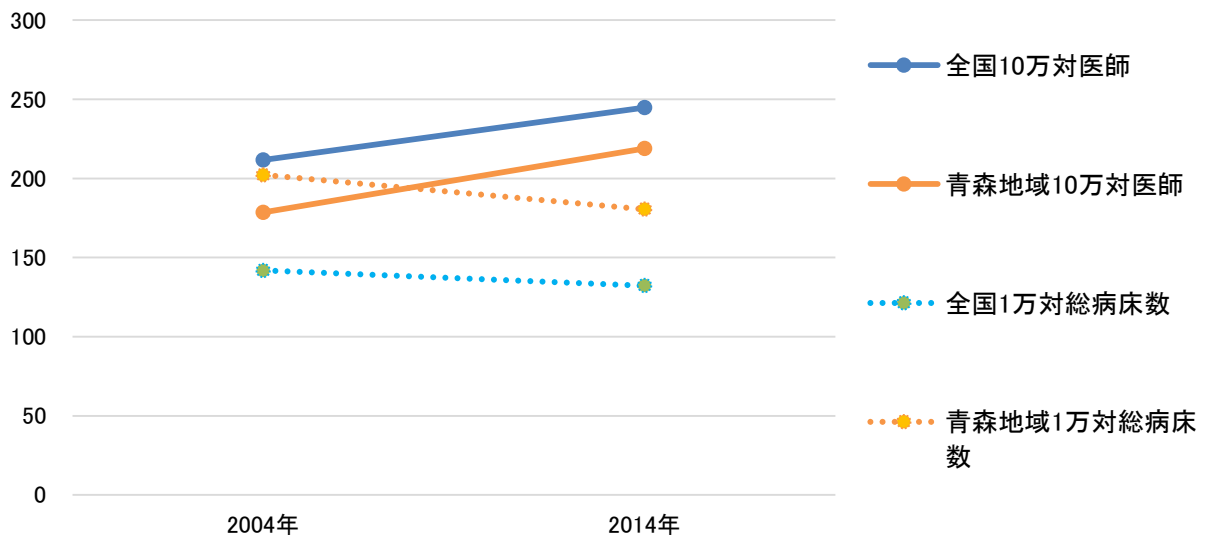
2004年の病院数が25(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に23(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が275(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に245(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、30診療所が減少した。

2004年の総病床数が6884床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に5608床(人口1万人当たり181(全国平均132)偏差値59)と、1276床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

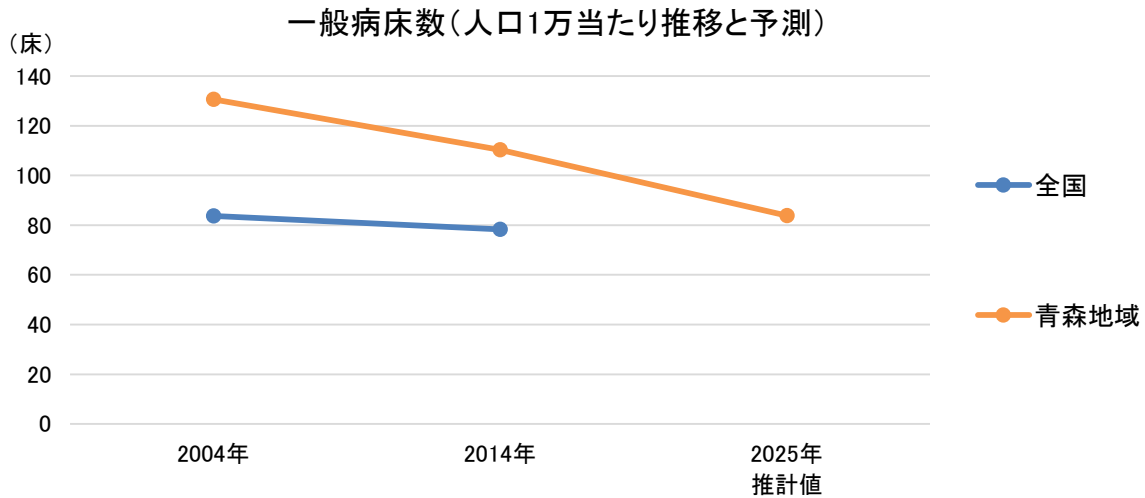
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が608人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に680人(人口10万人当たり219人(全国平均245人)偏差値47)と、72人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



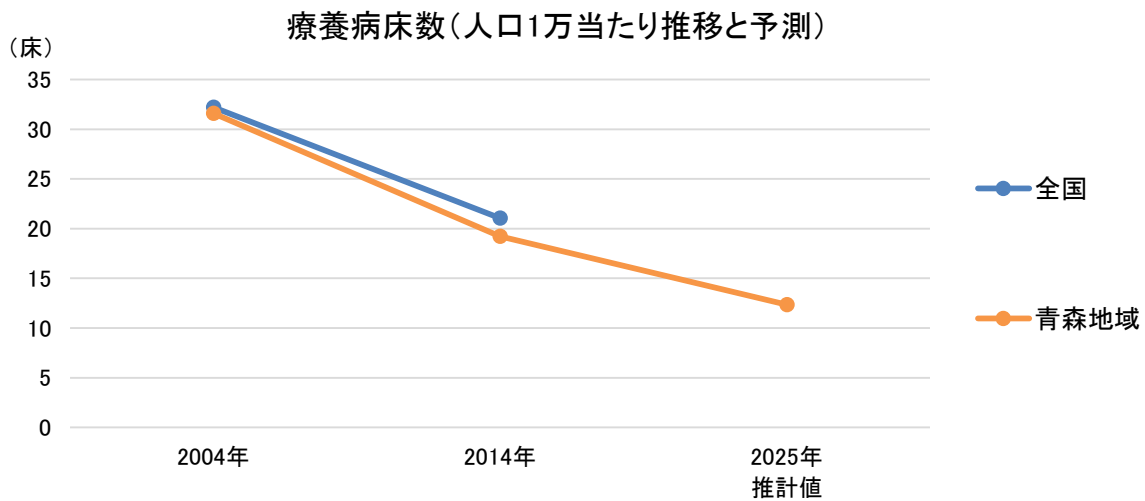
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4447床(人口1万人当たり131(全国平均84)偏差値67)であったが、2014年に3428床(人口1万人当たり110(全国平均78)偏差値62)と、1019床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2307床(2025年の推計人口1万人当たり84)になることが予想される。



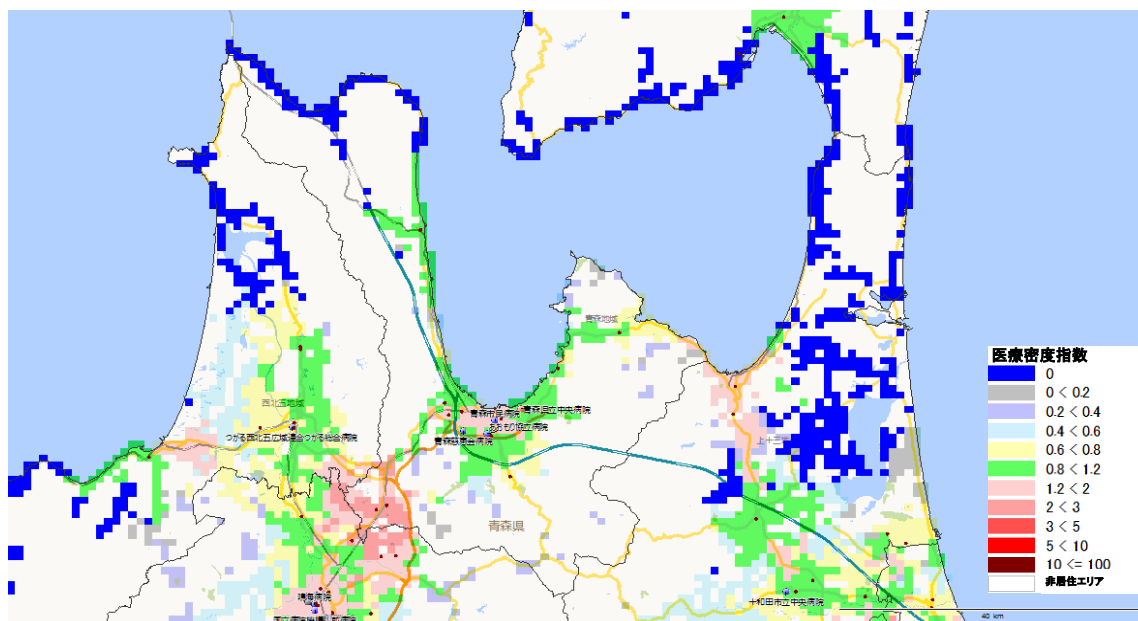
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1000床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に843床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、157床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には670床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



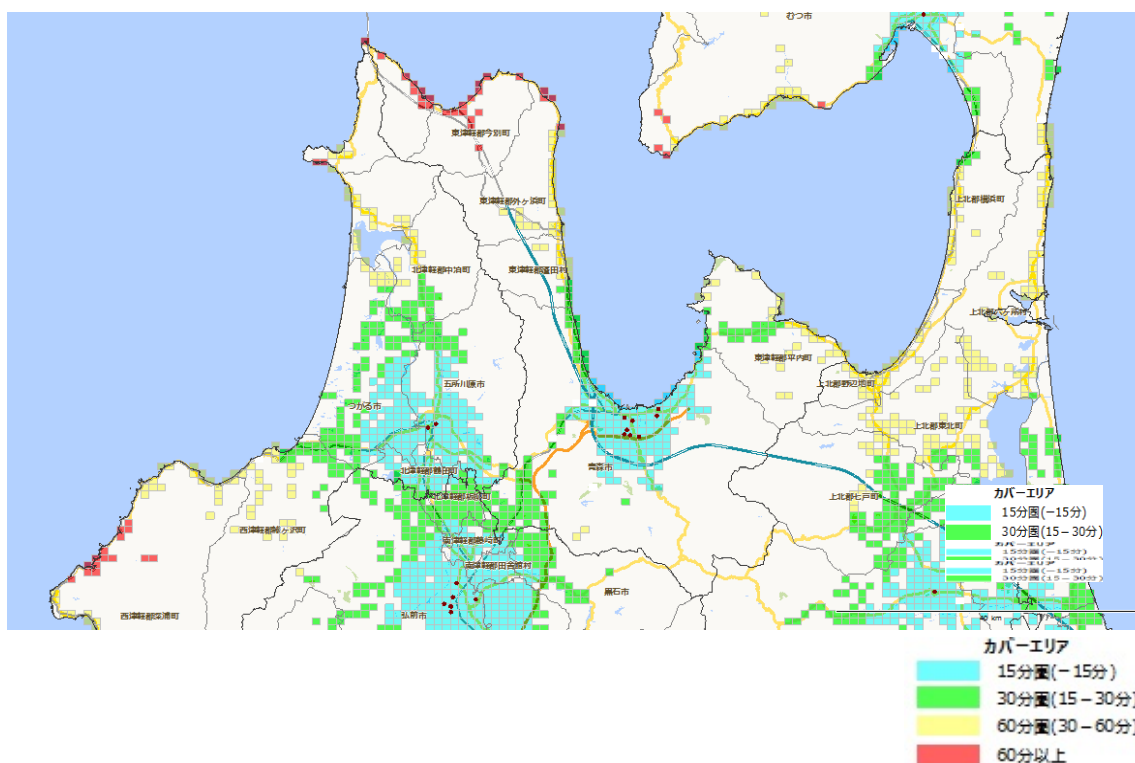
(青森地域医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表2-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

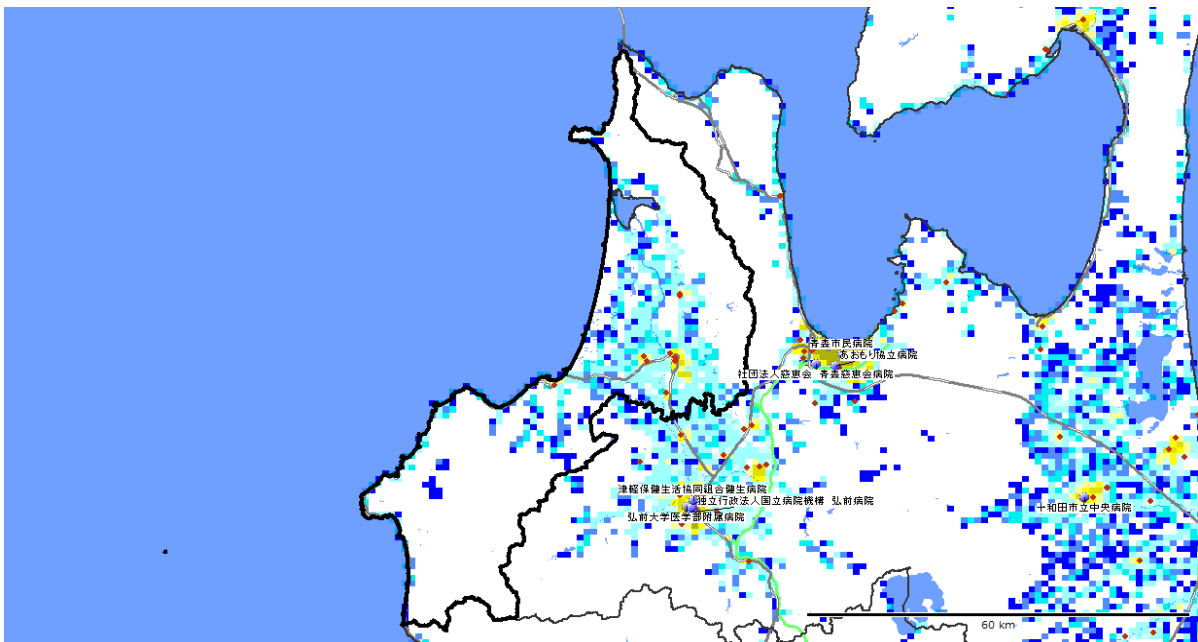
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



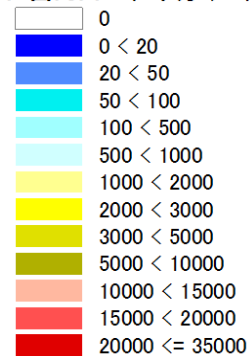
2-4. せいほくご 西北五地域医療圏

構成市区町村⁹ [五所川原市](#) [つがる市](#) [鱒ヶ沢町](#) [深浦町](#)
[鶴田町](#) [中泊町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(西北五地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西北五地域(五所川原市)は、総人口約132千人(2015年)、面積1752km²、人口密度は75人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西北五地域の総人口は2025年に113千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に84千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には25千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西北五地域の一人当たり医療費(国保)は299千円(偏差値40)、介護給付費は304千円(偏差値65)であり、医療費は低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西北五地域の一人当たり急性期医療密度指数²は0.62、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.48で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36(病院医師数37、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。西北五地域には、年間全身麻酔件数が500例以上のつがる総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西北五地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2740人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1650床(偏差値53)、高齢者住宅等が1090床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2174人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設75、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム49、グループホーム93、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、407人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(西北五地域医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西北五地域医療圏の総人口は、2005年155246人が、2015年に131631人と15%減少し、2025年の人口が112589人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

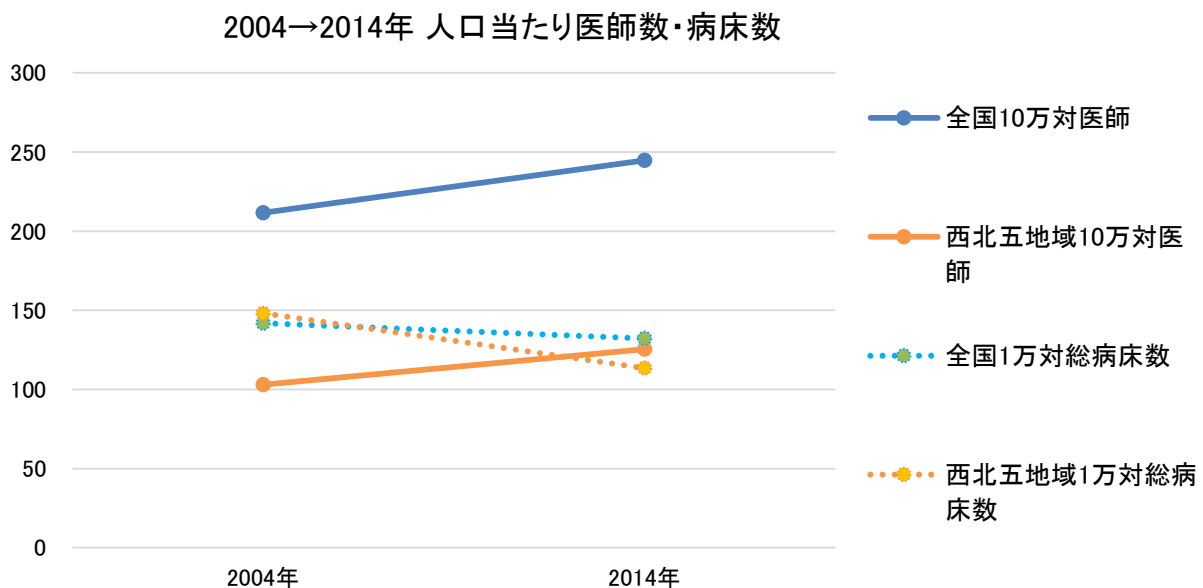
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が10(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に8(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が81(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に85(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値42)と、4診療所が増加した。

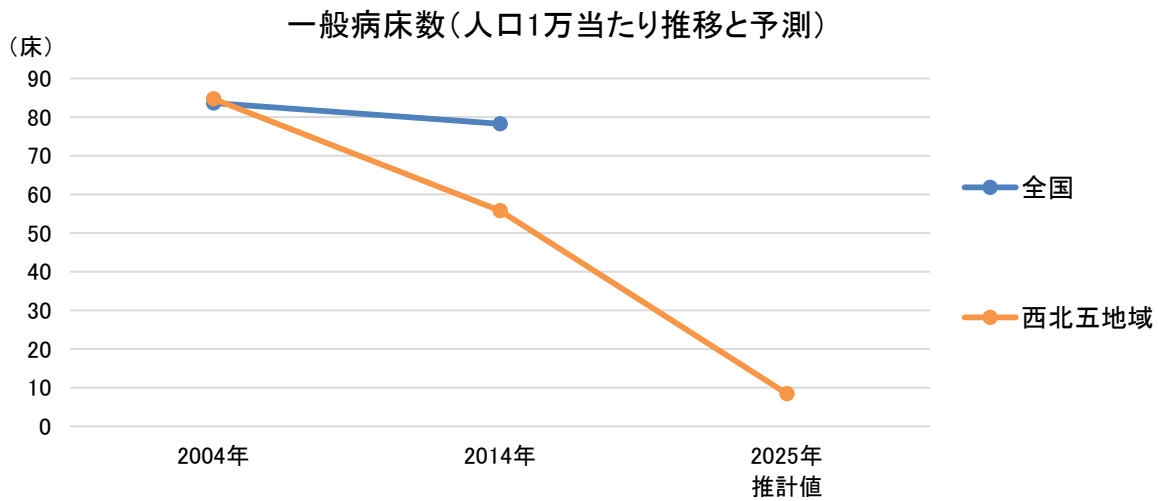
2004年の総病床数が2299床(人口1万人当たり148(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に1493床(人口1万人当たり113(全国平均132)偏差値47)と、806床の減少、率にして35%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が160人(人口10万人当たり103人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり125人(全国平均245人)偏差値37)と、5人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



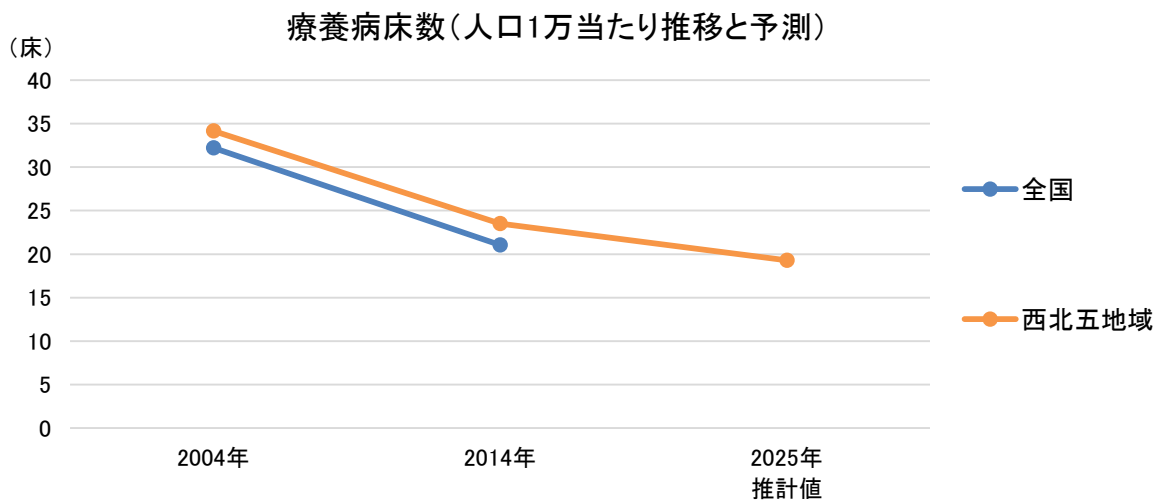
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1315床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に734床(人口1万人当たり56(全国平均78)偏差値42)と、581床の減少、率にして44%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には95床(2025年の推計人口1万人当たり8)になることが予想される。



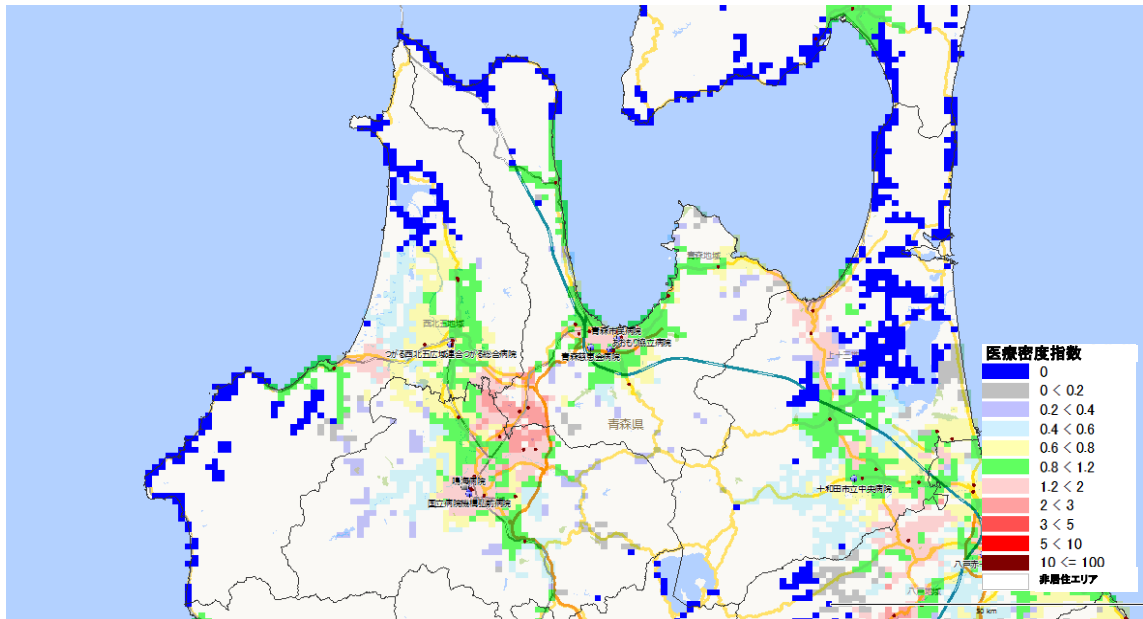
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が668床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に591床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、77床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には506床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



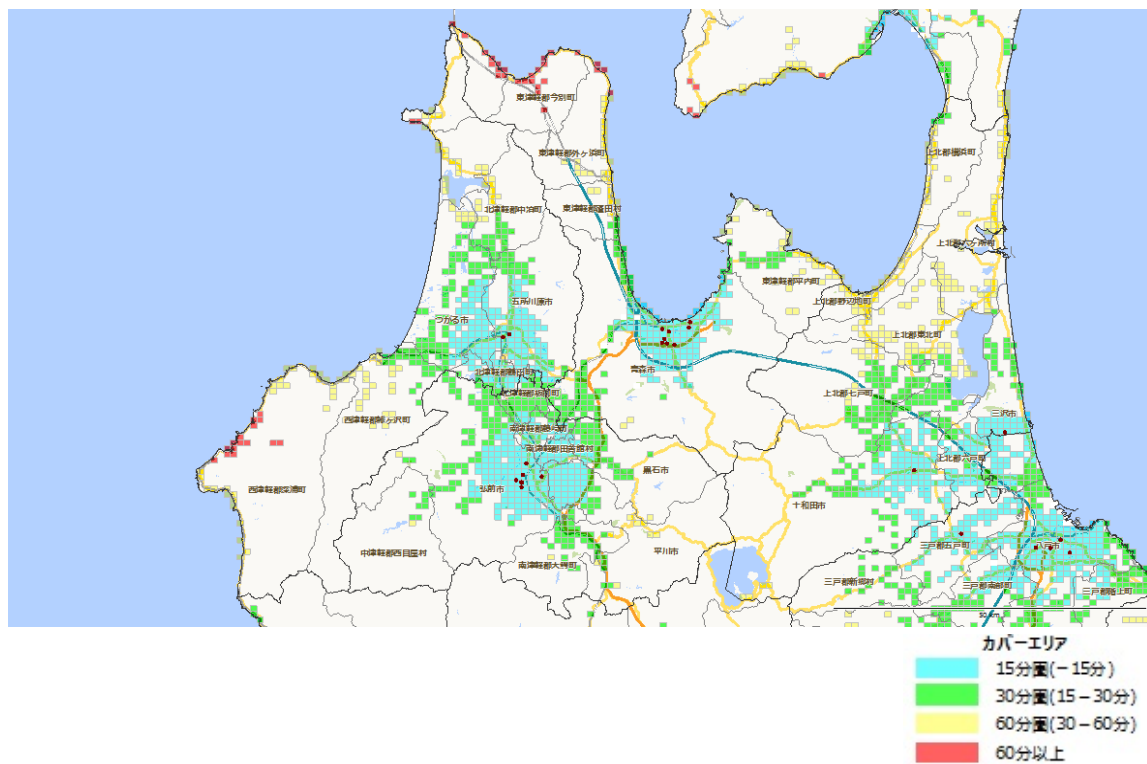
(西北五地域医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表2-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

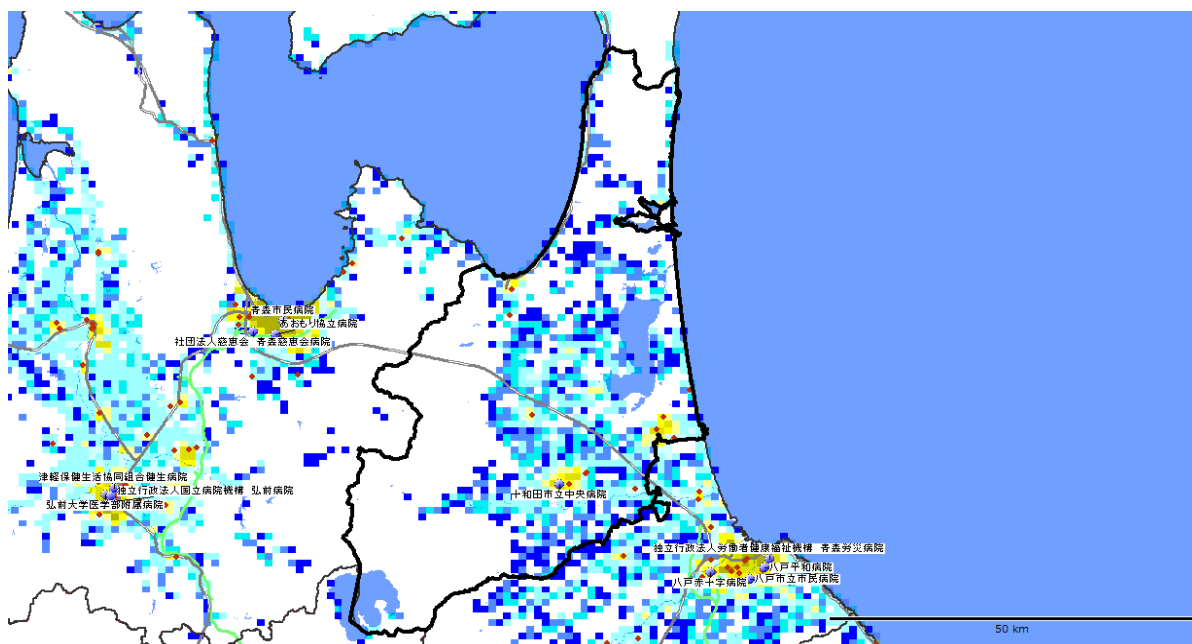
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



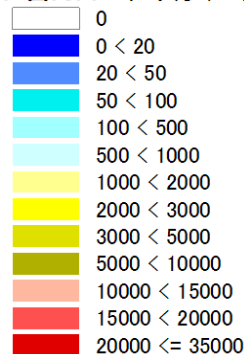
2-5. かみとうさん 上十三地域医療圏

構成市区町村⁹ [土和田市](#) [三沢市](#) [野辺地町](#) [七戸町](#)
[六戸町](#) [横浜町](#) [東北町](#) [六ヶ所村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(上十三地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 上十三地域(十和田市)は、総人口約176千人(2015年)、面積2054km²、人口密度は86人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 上十三地域の総人口は2025年に158千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に130千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 上十三地域の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値45)、介護給付費は323千円(偏差値70)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 上十三地域の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.42で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が35(病院医師数37、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。上十三地域には、年間全身麻酔件数が500例以上の十和田市立中央病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 上十三地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3008人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1824床(偏差値55)、高齢者住宅等が1184床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2218人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム66、サ高住59である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、552人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(上十三地域医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上十三地域医療圏の総人口は、2005年191417人が、2015年に176307人と8%減少し、2025年の人口が158286人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

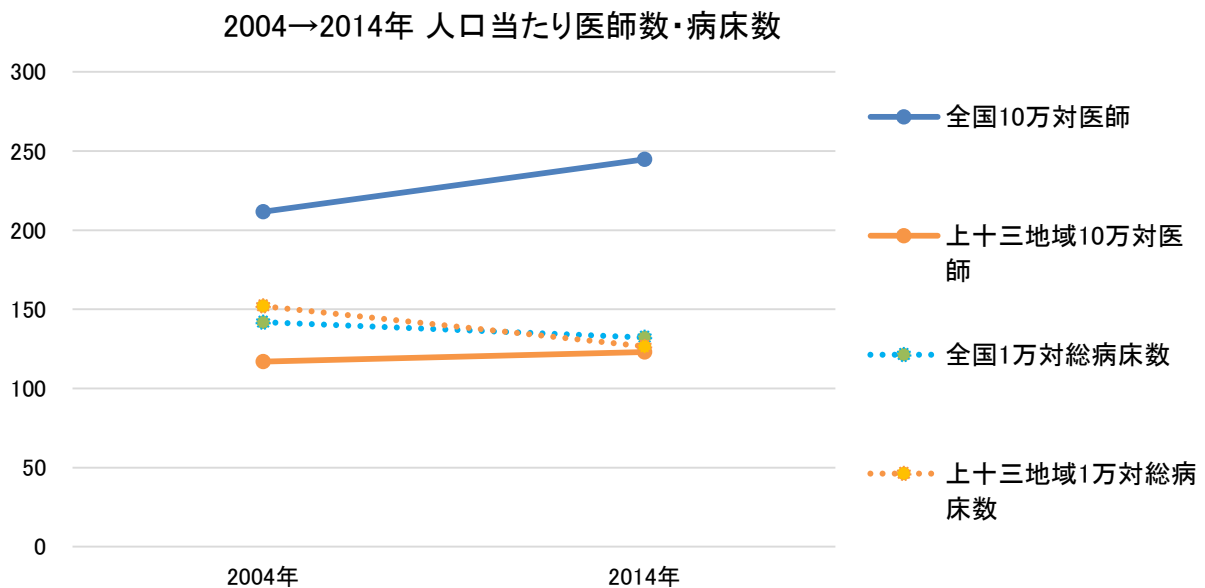
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が13(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に13(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が103(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に93(人口10万人当たり53診療所(全国平均79)偏差値36)と、10診療所が減少した。

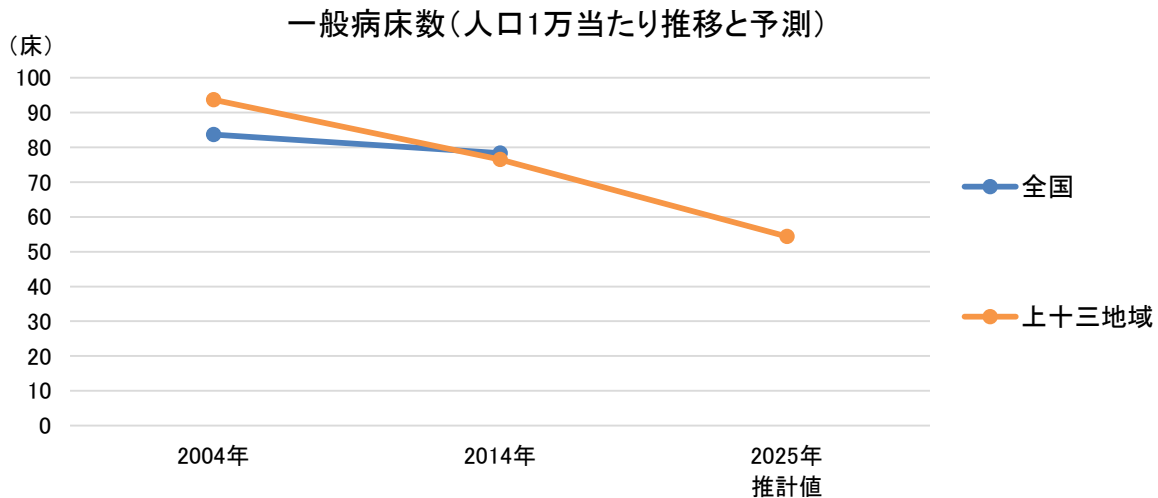
2004年の総病床数が2911床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に2230床(人口1万人当たり126(全国平均132)偏差値49)と、681床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が224人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に217人(人口10万人当たり123人(全国平均245人)偏差値37)と、7人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



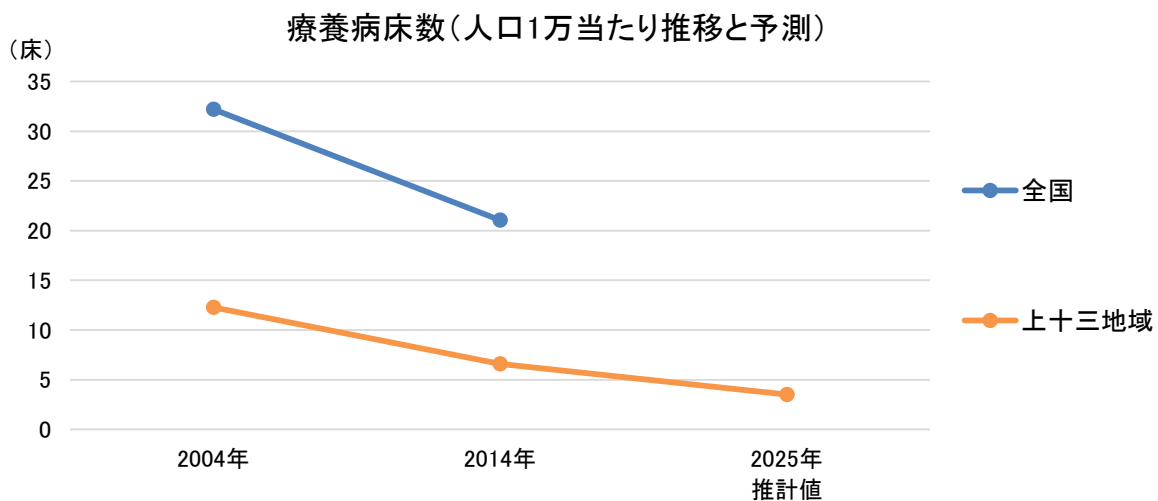
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1793床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1349床(人口1万人当たり77(全国平均78)偏差値49)と、444床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には861床(2025年の推計人口1万人当たり54)になることが予想される。



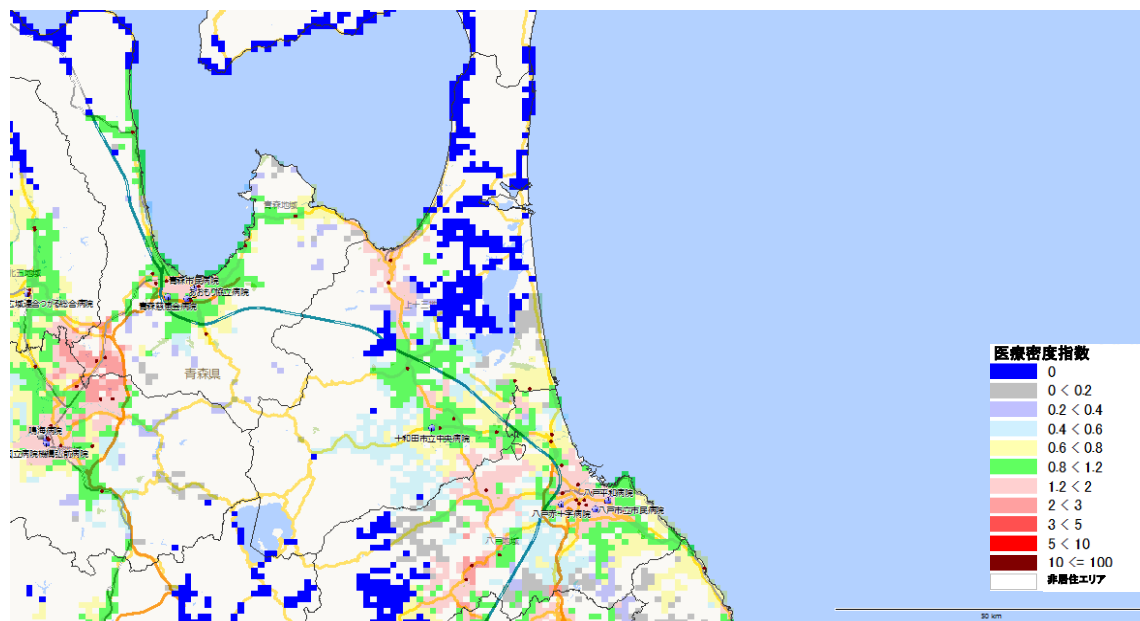
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が236床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に178床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、58床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には114床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。



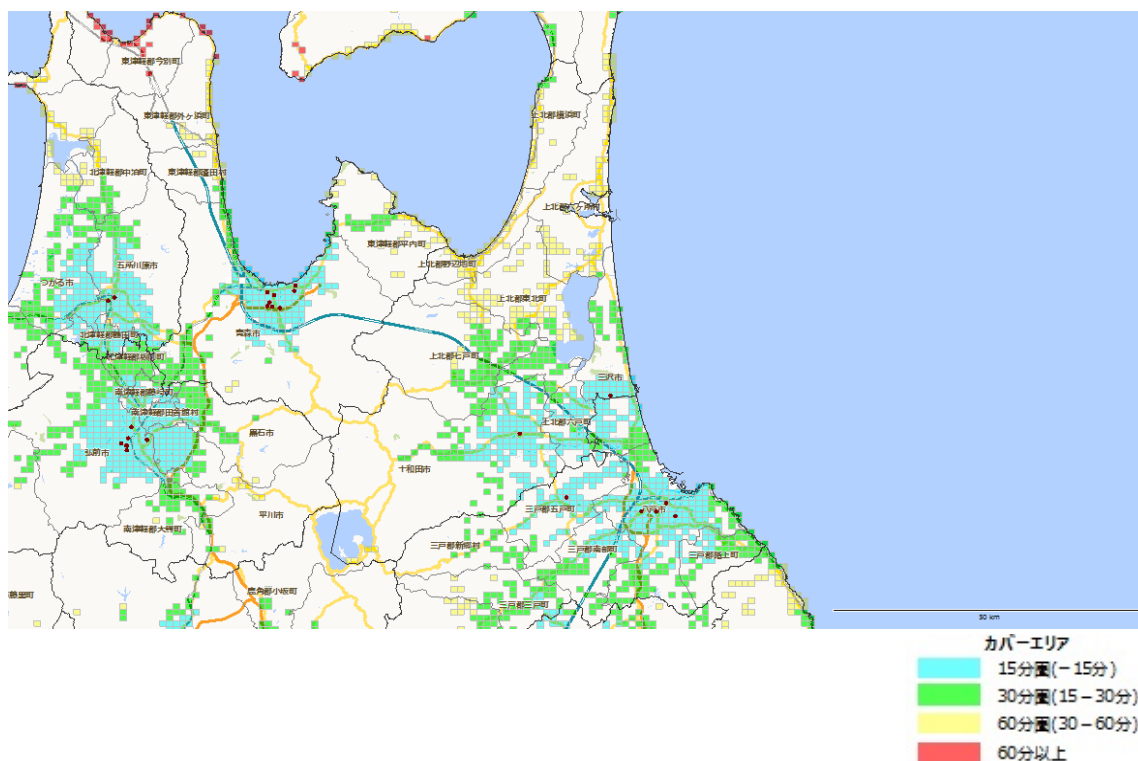
(上十三地域医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表2-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）

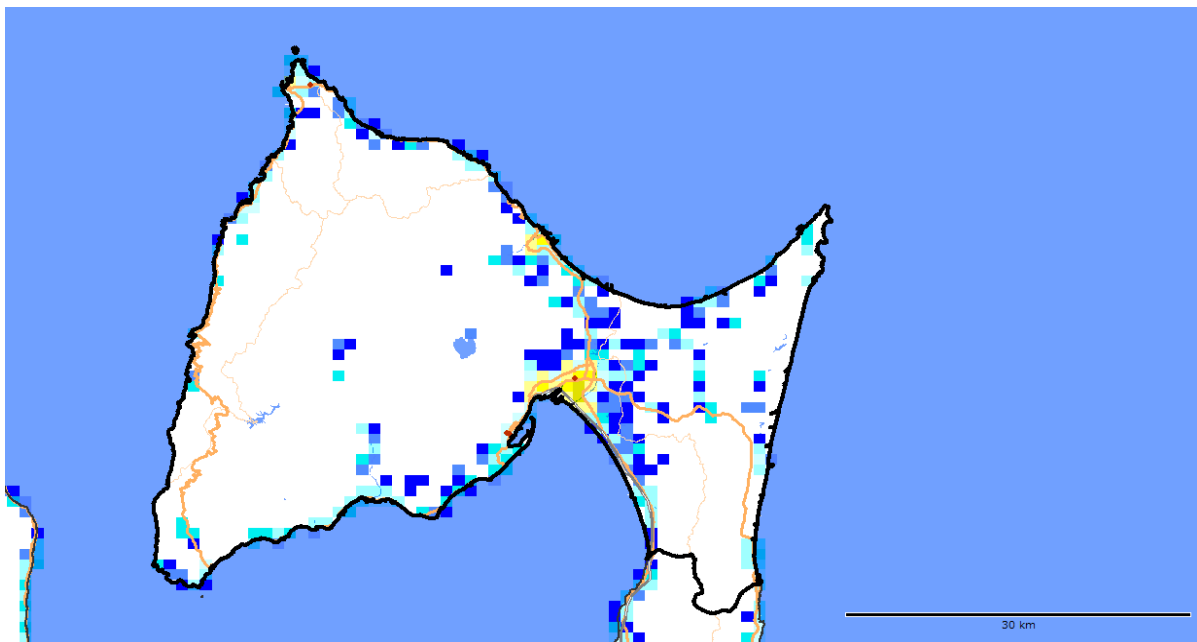


2-6. しもきた 下北地域医療圏

図表2-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

構成市区町村⁹ [むつ市](#) [大間町](#) [東通村](#) [風間浦村](#)
[佐井村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(下北地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 下北地域(むつ市)は、総人口約74千人(2015年)、面積1416km²、人口密度は53人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 下北地域の総人口は2025年に67千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に53千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には14千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 下北地域の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値43)、介護給付費は291千円(偏差値61)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 下北地域の一人当たり急性期医療密度指数²は0.56、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.91で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36(病院医師数39、診療所医師数33)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。下北地域には、年間全身麻酔件数が500例以上のむつ総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 下北地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1052人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が808床(偏差値58)、高齢者住宅等が244床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、853人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、171人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(下北地域医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

下北地域医療圏の総人口は、2005年83752人が、2015年に74451人と11%減少し、2025年の人口が66542人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

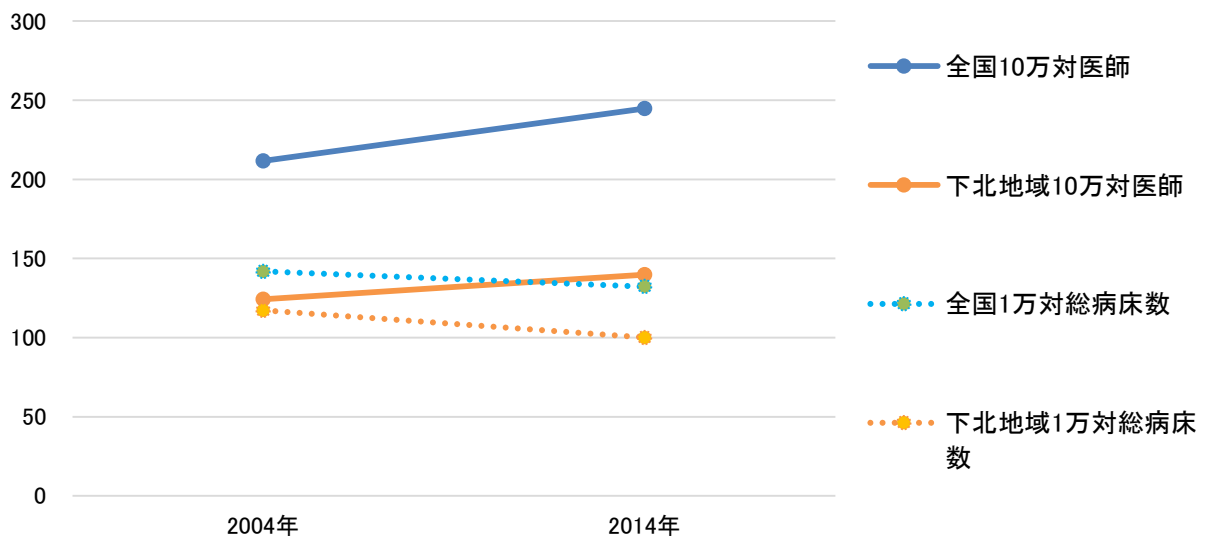
2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に4(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が46(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に40(人口10万人当たり54診療所(全国平均79)偏差値36)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が982床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に745床(人口1万人当たり100(全国平均132)偏差値44)と、237床の減少、率にして24%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

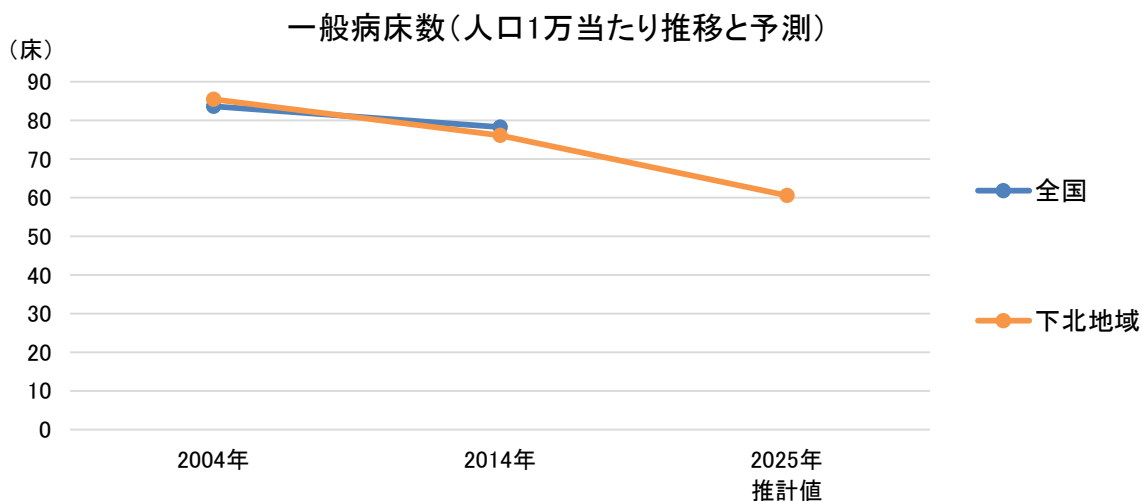
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が104人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に104人(人口10万人当たり140人(全国平均245人)偏差値39)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



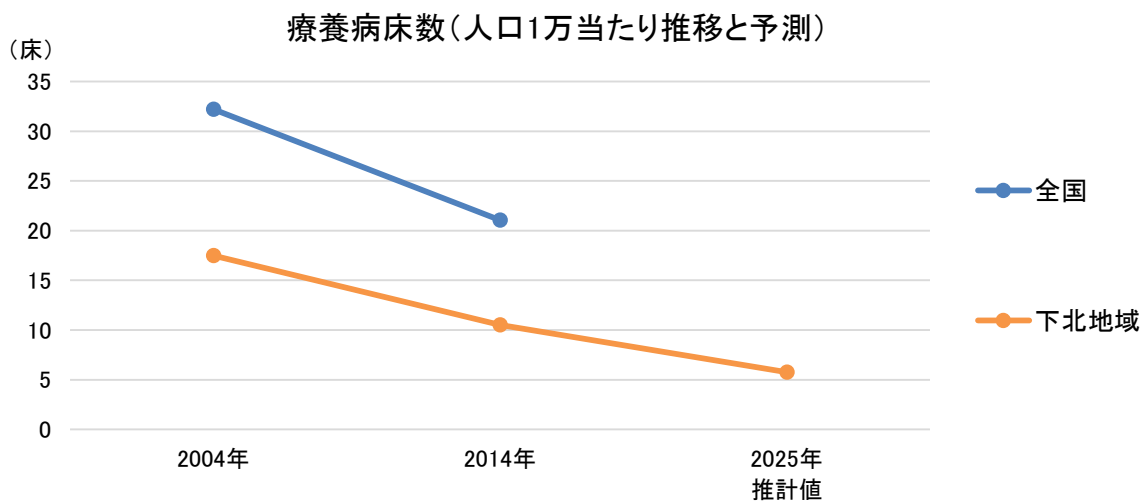
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が716床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に567床(人口1万人当たり76(全国平均78)偏差値49)と、149床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には403床(2025年の推計人口1万人当たり61)になることが予想される。



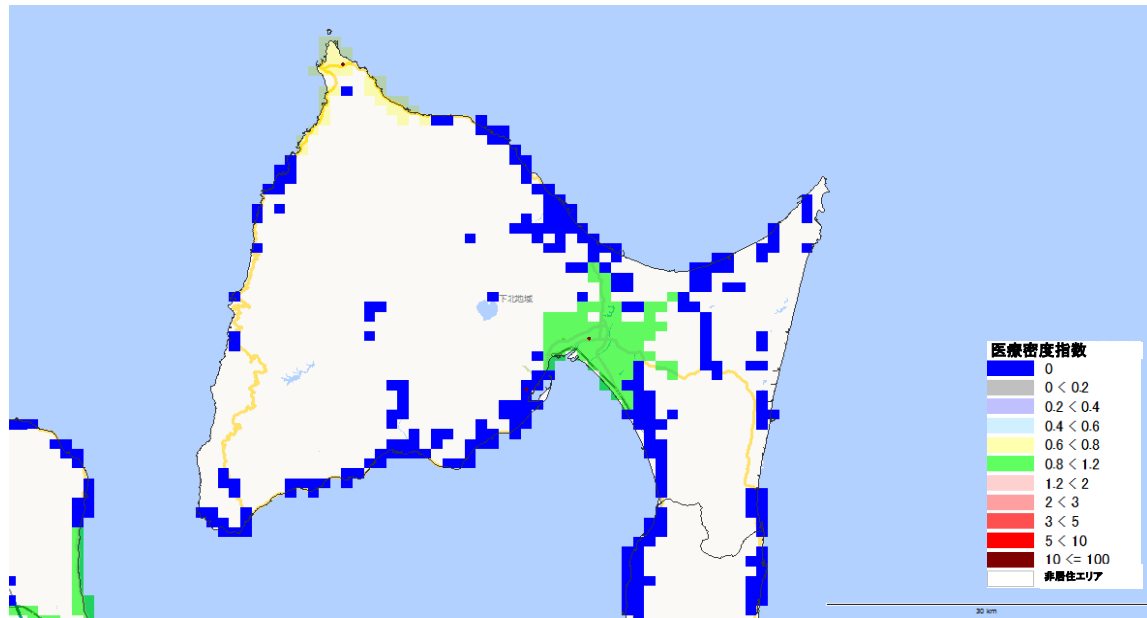
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が156床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に120床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、36床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には80床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



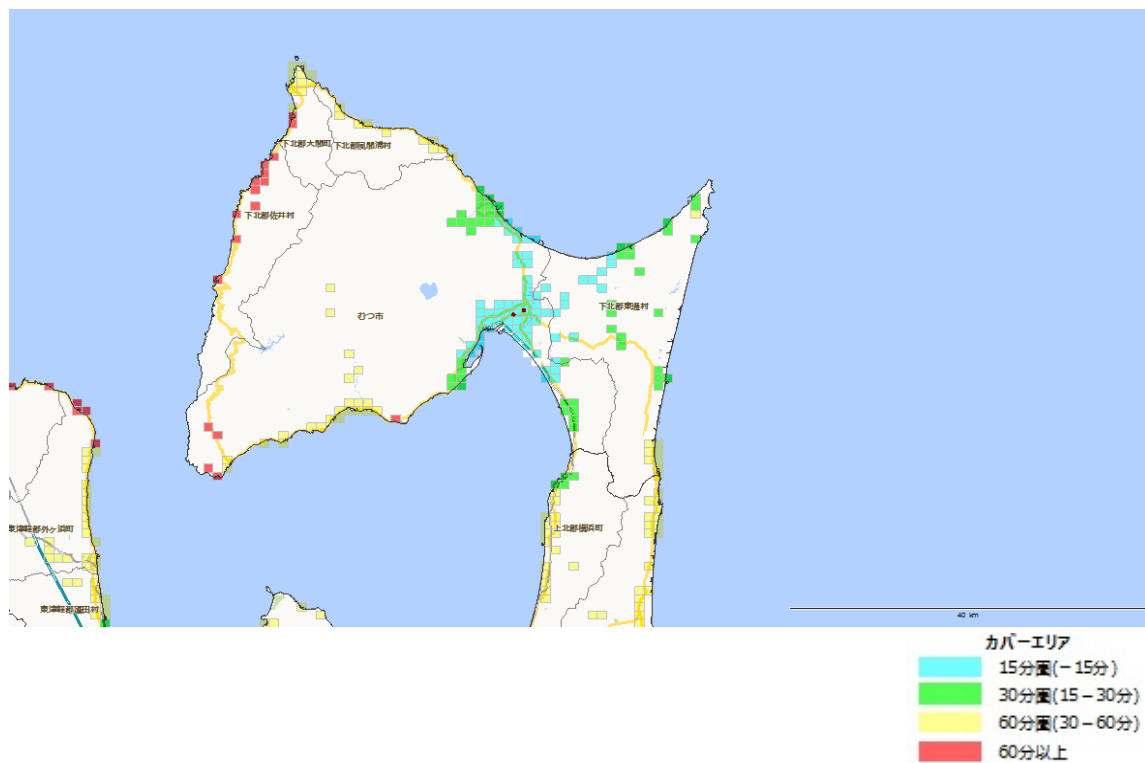
(下北医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表2-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



2.青森県(2017年版)

注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。